

住民への意見聴取 (アンケート調査) の結果

目 次

1 アンケート調査の実施方法	2
2 アンケート回収状況	3
3 回答者属性	4
4 神通川についての知識	6
5 目指すべき神通川の姿について（治水）	9
6 目指すべき神通川の姿について（環境）	15
7 目指すべき神通川の姿について（利用）	21
8 神通川の河川整備の現状と将来について（治水）	27
9 神通川の河川整備の現状と将来について（環境）	35
10 神通川の河川整備の現状と将来について（利用）	43
11 神通川に関する知識と河川整備の考え方との関係	51
12 神通川についての自由意見	54

1 アンケート調査の実施方法

1. 調査実施期間

平成28年9月20日(火)～平成28年10月21日(金)

2. 実施方法

1) 紙媒体(アンケート用紙)による直接記入

1. 実施方法
 - ・調査対象範囲に含まれる役所(国、県、市)にアンケート用紙・投函箱を設置
 - ・アンケート用紙に直接記入して投函

2. 対象者
 - ・流域の一般住民

2) Webアンケート(流域一般住民)

1. 実施方法
 - ・富山河川国道事務所ウェブサイトへアクセスし、アンケート調査専用ページから回答
 - ・インターネットでモニターへアンケートを配信し、回答

2. 対象者
 - ・流域の一般住民
 - ・調査対象範囲に居住するモニター(アンケート調査会社へ委託)

3. 対象範囲

神通川との係りが深いと考えられる下記の範囲を調査対象とした

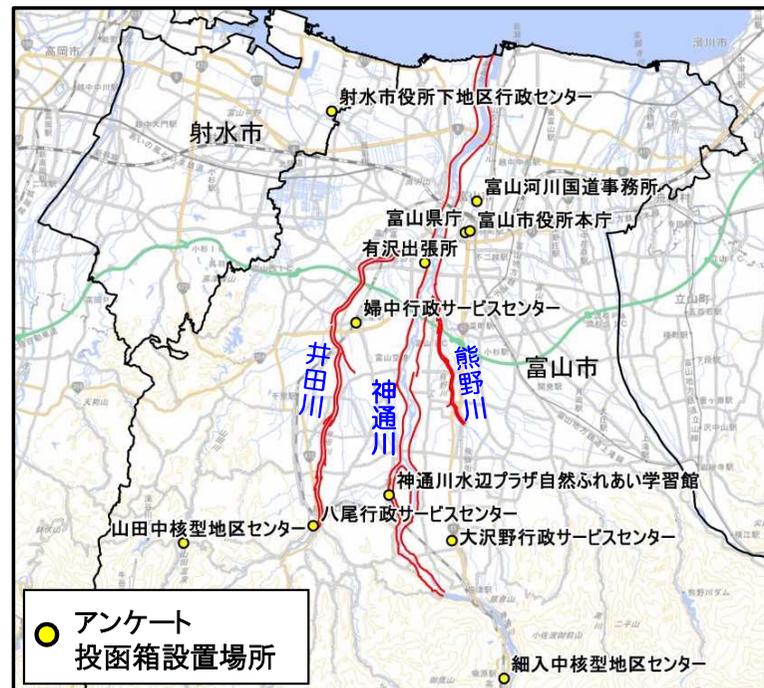
(右図の着色範囲)

- 富山市内の一部地域
神通川の直轄管理区間に近接している旧市町村
- 射水市内の一部地域
大規模水害時には氾濫が及ぶと想定される地区



3. アンケート用紙配布・投函場所

機関	場所	
国土交通省	富山河川国道事務所 1階ロビー	
	有沢出張所	
富山県	富山県庁 2階河川課内	
富山市	富山市役所本庁 1階	
	富山市役所 大沢野行政サービスセンター	
	富山市役所 八尾行政サービスセンター	
	富山市役所 婦中行政サービスセンター	
	富山市役所 山田中核型地区センター	
	富山市役所 細入中核型地区センター	
	神通川水辺プラザ 自然ふれあい学習館	
	射水市	射水市役所 下地区行政センター



富山河川国道事務所



射水市役所
下地区行政センター



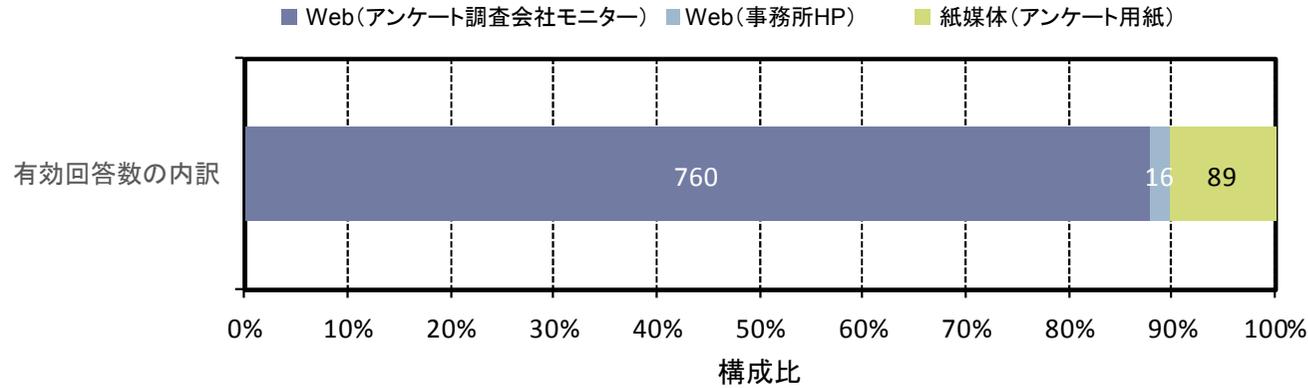
大沢野行政サービス
センター



富山市役所

2 アンケート回収状況

- 回答数 942件
- 全回答数より無効回答を除外した865件を有効回答数として、アンケート結果の整理を行う。
- 回答者の内訳は、Web（モニター）が88%、Web（事務所HP）が2%、アンケート用紙が10%となっている。



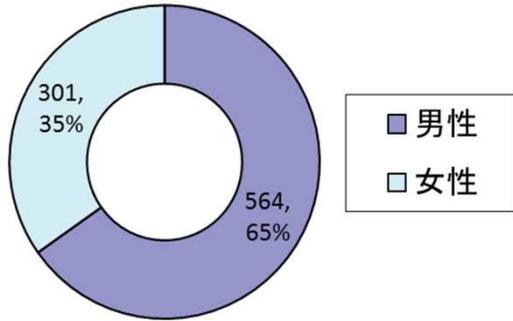
実施方法	対象者	回収数	有効回答数 (※)	構成比
紙媒体(アンケート用紙)	一般住民	89	89	10%
Web(事務所HP)	一般住民	16	16	2%
Web(モニター)	調査対象範囲に居住するモニター	837	760	88%
合計		942	865	100%

※全回収数から、以下の条件に両方とも該当するものを無効とし、除外した後の回収数を有効回答数としている。

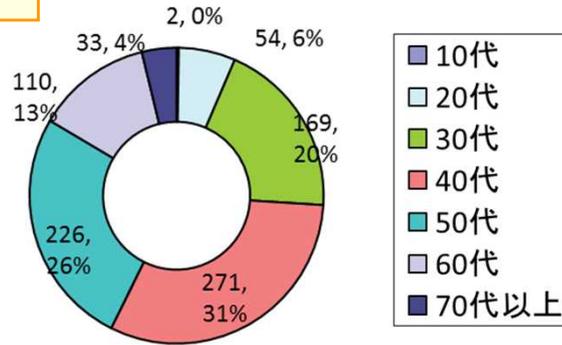
- 選択式の問題すべてにおいて「特に無い」または「わからない」を選択
- すべての自由意見に無意味な文字列のみを記載(ex.)

3 回答者属性①

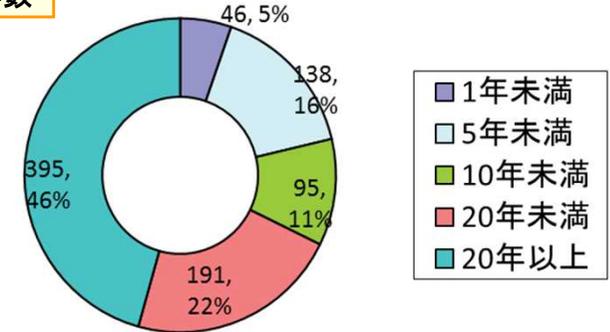
性別



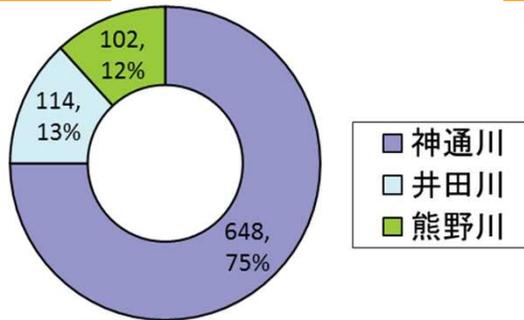
年代



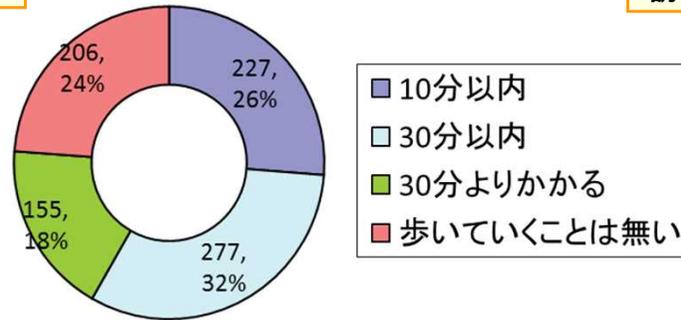
居住年数



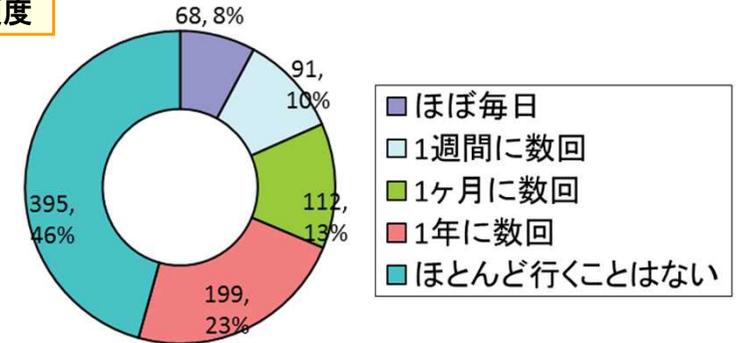
近い河川



徒歩時間



訪問頻度

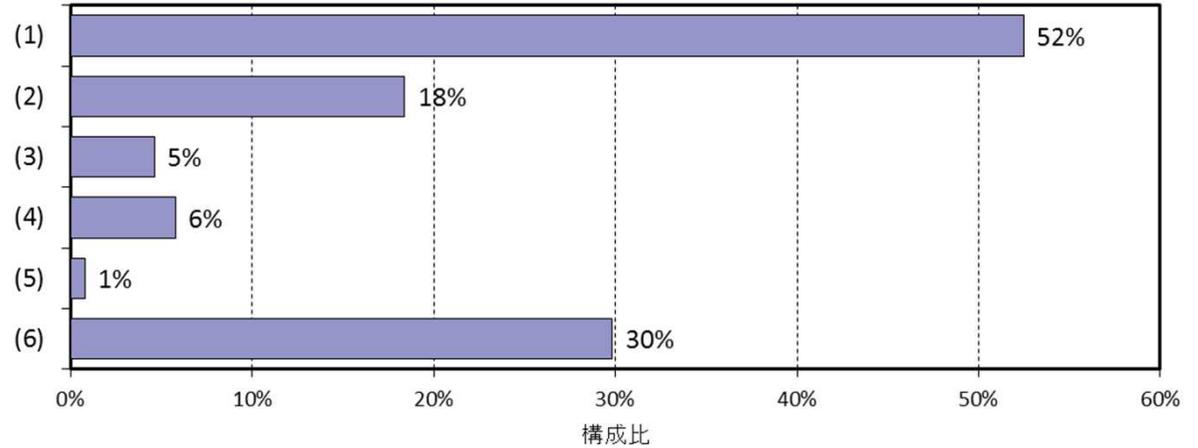


性別	回答者の65%が男性、35%が女性となっている。
年代	回答者の年代は40代、50代の割合が多く、20代以下の割合が少ない。
居住年数	10年以上住んでおられる方からの回答が約7割を占めており、比較的居住年数の長い方からの回答が多くなっている。
近い河川	回答者の75%が神通川と回答しており、大部分を占めているが、井田川、熊野川に近い方からも回答が寄せられている。
徒歩時間	回答者の半数以上が、近い河川まで徒歩30分圏内の方である。
訪問頻度	回答者の概ね半数はほとんど行くことはないと回答している。ほぼ毎日、1週間に数回といった高頻度に足を運ぶ方は約2割となっている。

3 回答者属性②

利用目的（複数選択項目）

		回答数	有効回答数に占める構成比
(1)	散歩	454	52%
(2)	スポーツ、レクリエーション	159	18%
(3)	釣り	40	5%
(4)	バーベキュー	50	6%
(5)	耕作	7	1%
(6)	その他	258	30%

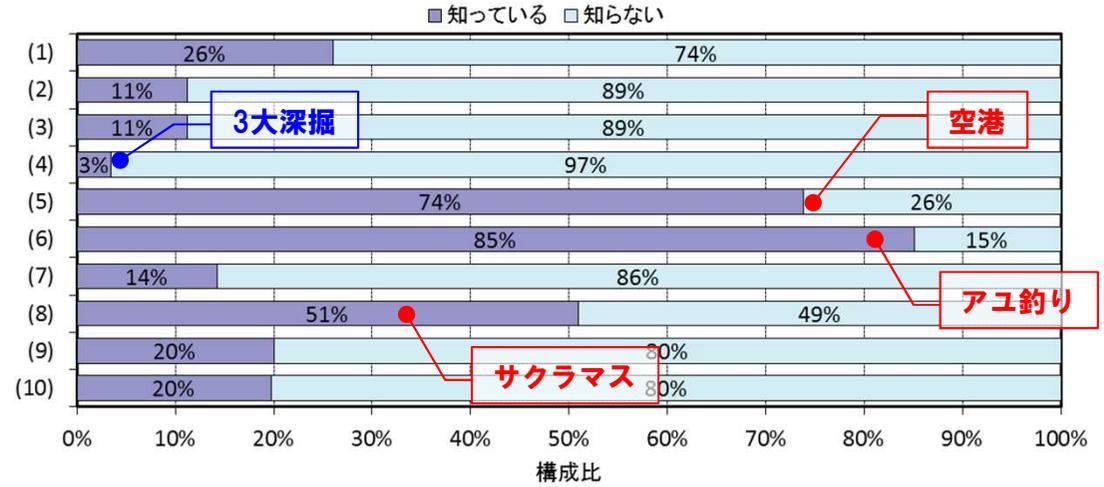


- 回答者の半数以上が散歩に利用していると回答している。
- スポーツ・レクリエーションと答えた方が約2割、釣り、バーベキューと答えた方が約5%、耕作と答えた方が1%となっている。
- 約3割の方がその他と回答している。

4 神通川についての知識①

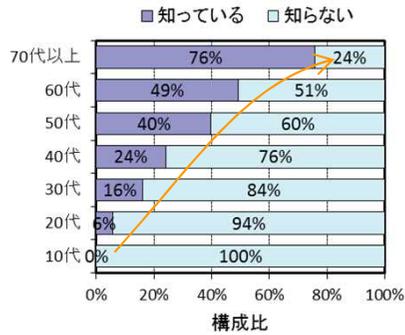
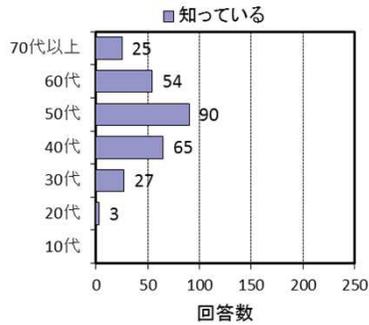
問9 神通川に関する事柄の中であなたが知っているものを以下からすべて選択してください。(1~10について複数回答可)

		知っている		知らない	
		回答数	構成比	回答数	構成比
(1)	岐阜県内では宮川と呼ばれている	225	26%	640	74%
(2)	明治時代に馳越線工事(富山県庁、富山市役所付近の川筋変更)が実施された	97	11%	768	89%
(3)	大正時代に河口と富山港の分離工事が実施された	97	11%	768	89%
(4)	3大深掘(3大水衝部)と呼ばれる場所がある	30	3%	835	97%
(5)	富山空港は日本で唯一の河川敷にある空港である	639	74%	226	26%
(6)	神通川ではアユ釣りが盛んである	736	85%	129	15%
(7)	河口付近が鳥獣保護区に指定されている	123	14%	742	86%
(8)	神通川にはサクラマスが遡上している	441	51%	424	49%
(9)	平成16年10月の台風23号は、神通川における観測史上最大の洪水だった	173	20%	692	80%
(10)	平成16年10月の台風23号の洪水に伴い、富山市では、10月21日の夜中に1,500世帯以上を対象に避難勧告が発令された	171	20%	694	80%

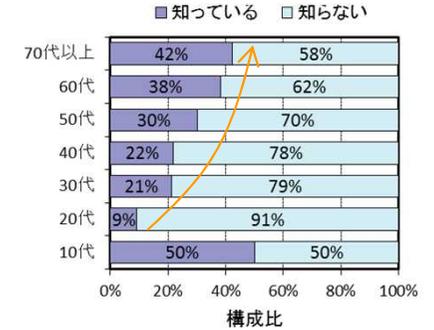
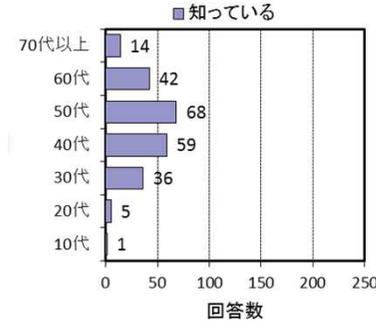


小問別の回答(年代別)

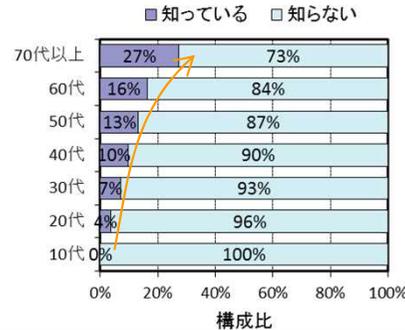
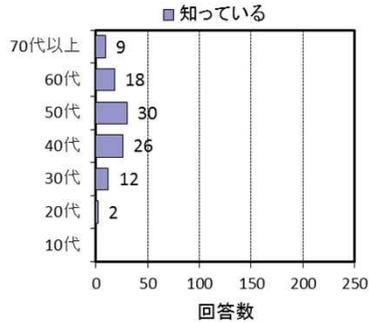
(1) 岐阜県内では宮川と呼ばれている



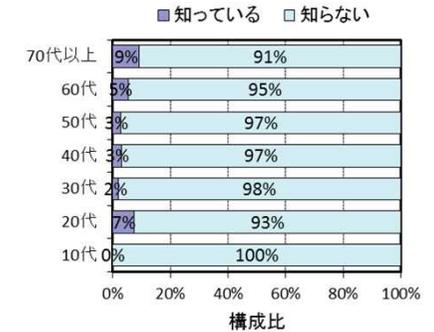
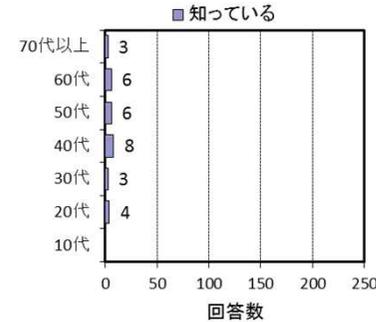
(2) 明治時代に馳越線工事(富山県庁、富山市役所付近の川筋変更)が実施された



(3) 大正時代に河口と富山港の分離工事が実施された

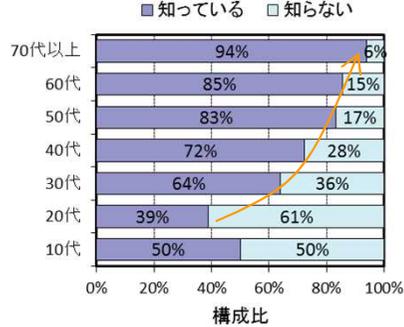
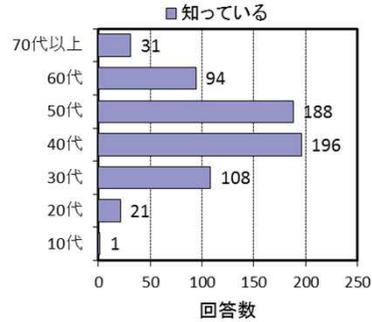


(4) 3大深掘(3大水衝部)と呼ばれる場所がある

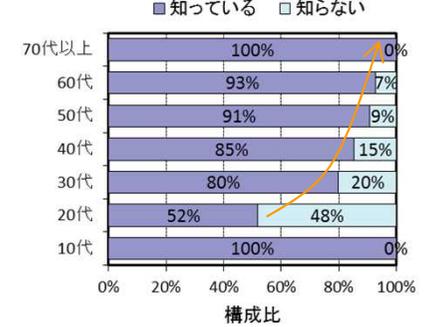
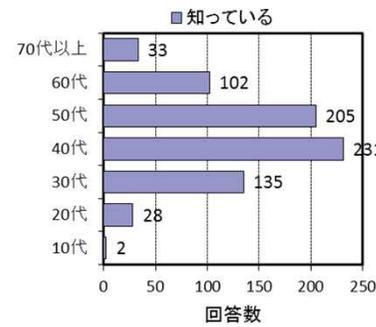


4 神通川についての知識②

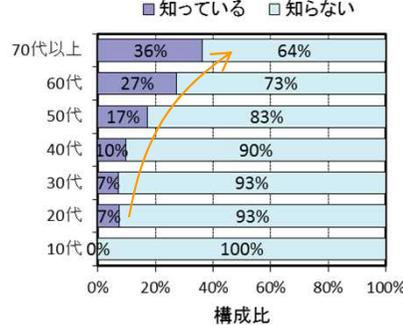
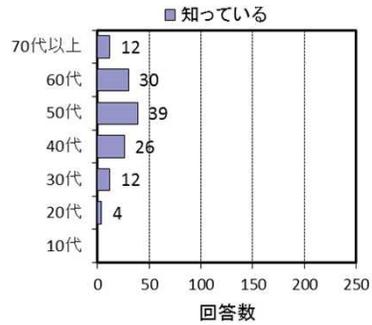
(5) 富山空港は日本で唯一の河川敷にある空港である



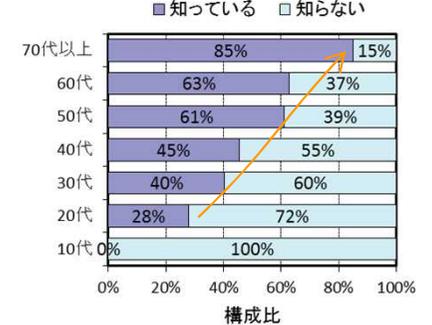
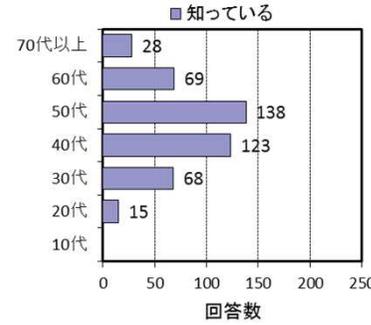
(6) 神通川ではアユ釣りが盛んである



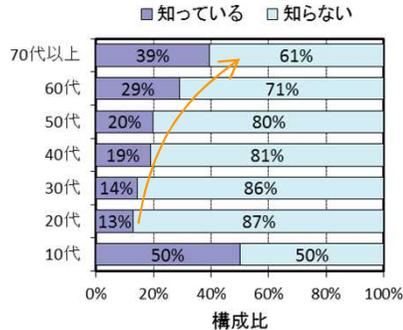
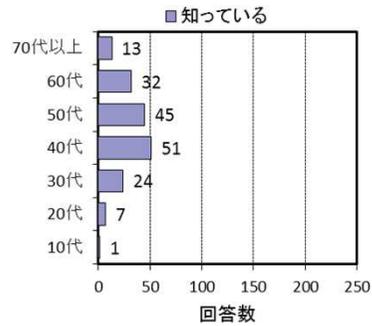
(7) 河口付近が鳥獣保護区に指定されている



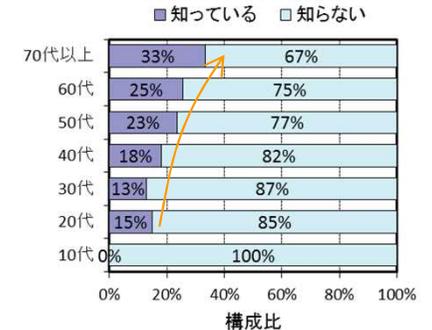
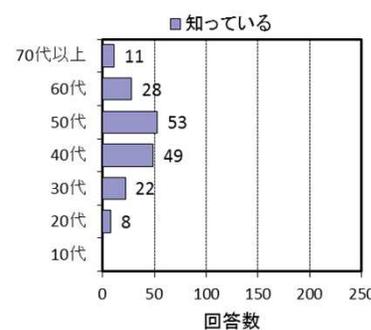
(8) 神通川にはサクラマスが遡上している



(9) 平成16年10月の台風23号は、神通川における観測史上最大の洪水だった



(10) 平成16年10月の台風23号の洪水に伴い、富山市では、10月21日の夜中に1,500世帯以上を対象に避難勧告が発令された

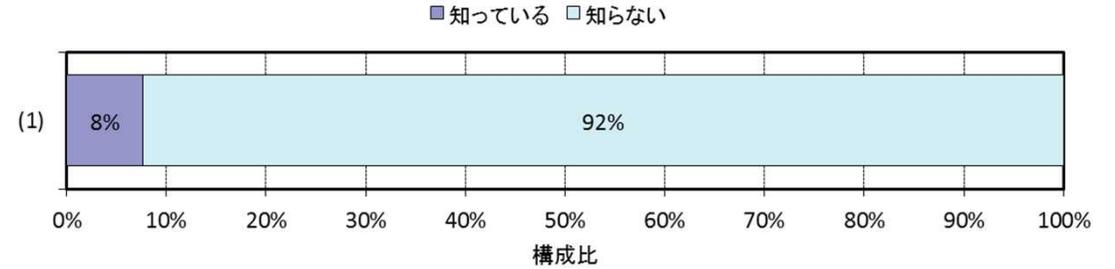


- 富山空港は日本で唯一河川敷にある**空港**であること、**アユ釣り**が盛んであること、**サクラマス**が遡上していることに関する認知度は高いが、その他の項目に対する認知度は概ね25%以下と低くなっている。
- 小問別の回答を年代別に見ると、**ほぼすべての項目において年代が高くなるほど認知度の比率が高くなっている**が、最も認知度の低い**3大深掘（3大水衝部）**に関する項目は、**全年代を通して認知度の比率が低くなっている**。

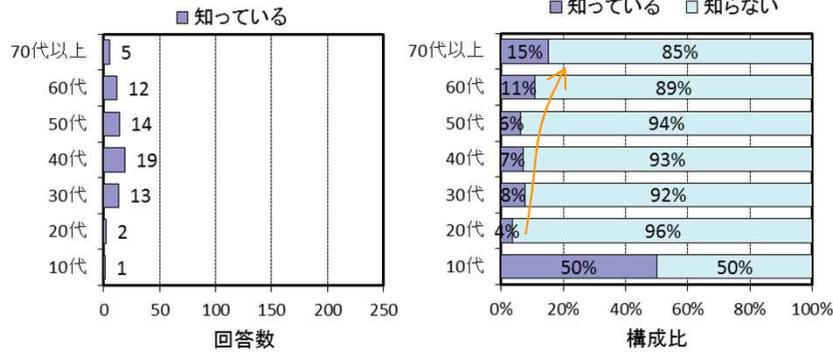
4 神通川についての知識③

問10 平成20年6月に策定された神通川水系河川整備基本方針（河川法に基づき定めた河川の総合的な保全と利用に関する基本方針）を知っていますか。

	知っている		知らない	
	回答数	構成比	回答数	構成比
平成20年6月に策定された神通川水系河川整備基本方針を知っている。	66	8%	799	92%



年代別の回答



- 回答者の9割以上が河川整備基本方針を知らないと回答している。
- 全体的な認知度は低いものの、年代別に見ると、年代が高くなるほど認知度の比率が高くなっている傾向がある。

目指すべき神通川の姿について

<治水>

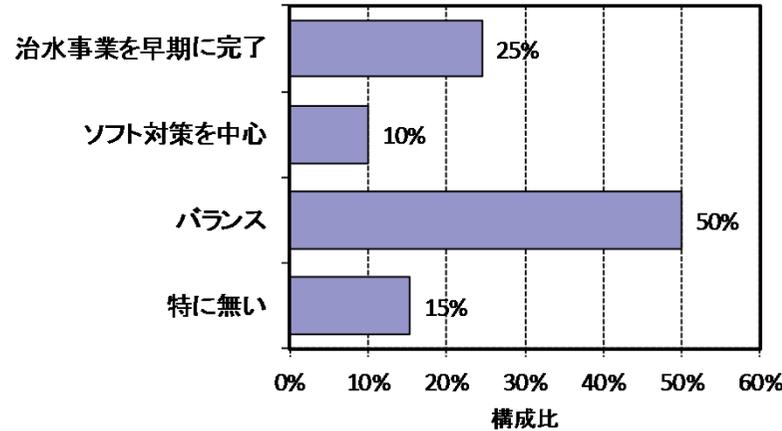
5 目指すべき神通川の姿について(治水) 一年代別

問11 あなたが考える「目指すべき神通川の姿」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

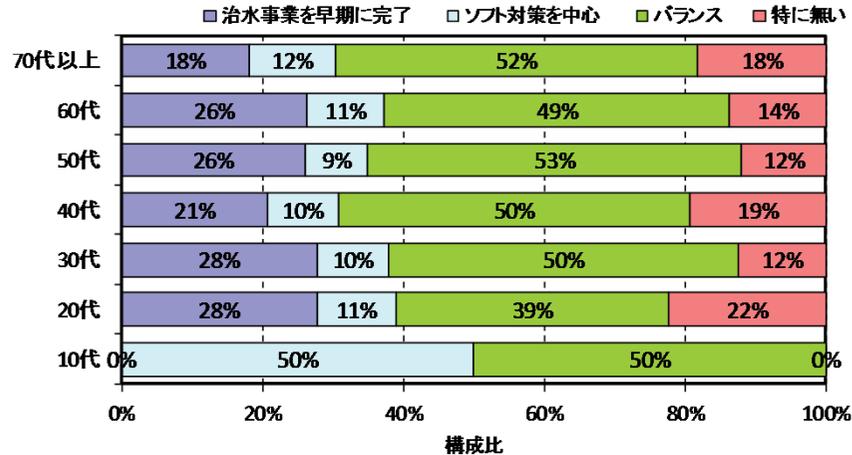
問11-① 「治水」について：治水事業※について、あなたが最も良いと思う事業の進め方を以下から1つ選択してください。

※治水事業とは、堤防整備、河道掘削、急流河川対策としての護岸整備など水害の防止・軽減を図るためのハード対策を意味する

	合計	
	回答数	構成比
治水事業を早期に完了	212	25%
ソフト対策を中心	87	10%
バランス	432	50%
特に無い	133	15%



年代別の回答比率



	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比										
治水事業を早期に完了	0	0%	15	28%	47	28%	56	21%	59	26%	29	26%	6	18%
ソフト対策を中心	1	50%	6	11%	17	10%	27	10%	20	9%	12	11%	4	12%
バランス	1	50%	21	39%	84	50%	135	50%	120	53%	54	49%	17	52%
特に無い	0	0%	12	22%	21	12%	52	19%	27	12%	15	14%	6	18%
合計	2	100%	54	100%	169	100%	270	100%	226	100%	110	100%	33	100%

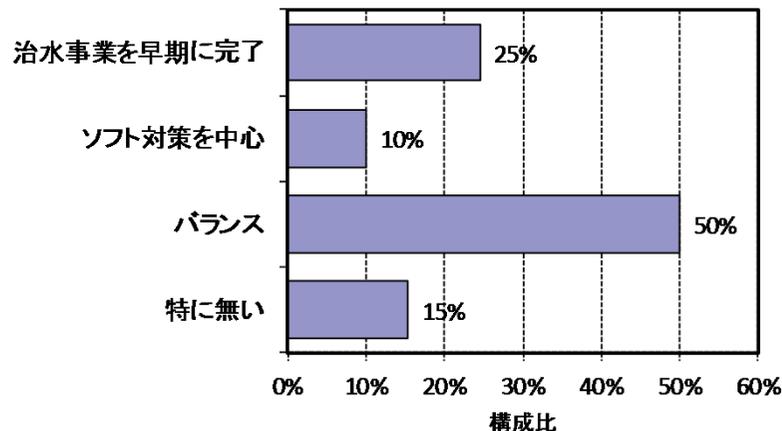
- 回答者の約半数がハードとソフトのバランスの取れた対策を求めている。
- 上記の傾向は、回答者数が著しく少ない10代を除き各年代概ね同一である。
- 治水事業の早期完了を望む声がソフト対策の2倍以上に及んでいる。

5 目指すべき神通川の姿について(治水) - 居住年数別 -

問11 あなたが考える「目指すべき神通川の姿」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

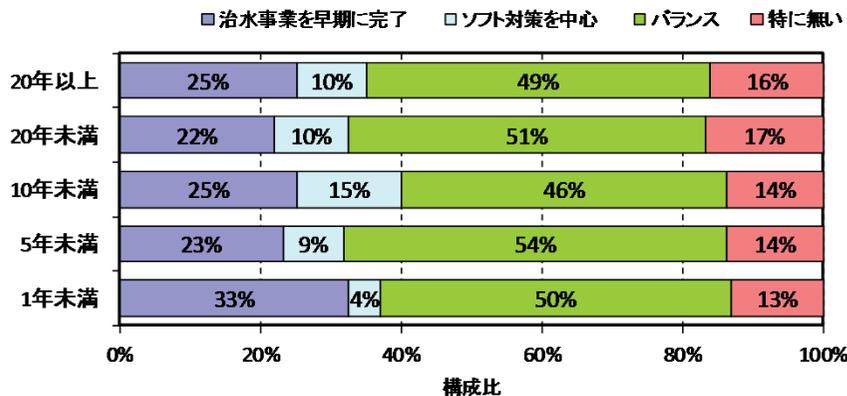
問11-① 「治水」について：治水事業※について、あなたが最も良いと思う事業の進め方を以下から1つ選択してください。

	合計	
	回答数	構成比
治水事業を早期に完了	212	25%
ソフト対策を中心	87	10%
バランス	432	50%
特に無い	133	15%



※治水事業とは、堤防整備、河道掘削、急流河川対策としての護岸整備など水害の防止・軽減を図るためのハード対策を意味する

居住年数別の回答比率



	1年未満		5年未満		10年未満		20年未満		20年以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
治水事業を早期に完了	15	33%	32	23%	24	25%	42	22%	99	25%
ソフト対策を中心	2	4%	12	9%	14	15%	20	10%	39	10%
バランス	23	50%	75	54%	44	46%	97	51%	193	49%
特に無い	6	13%	19	14%	13	14%	32	17%	63	16%
合計	46	100%	138	100%	95	100%	191	100%	394	100%

- 回答者の約半数の方がハードとソフトのバランスの取れた対策を行うべきと回答している。
- 居住年数の長さにかかわらず、バランスの取れた対策を行うべきとの回答が最も多くなっている。
- 居住年数1年未満の方は、居住年数が長い方と比べて、治水事業を早期に完了させるべきと回答する割合が多くなっている。

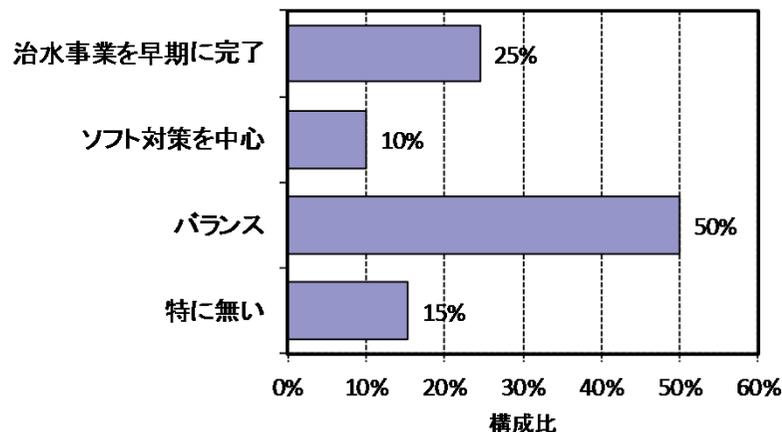
5 目指すべき神通川の姿について(治水) - 徒歩時間別 -

問11 あなたが考える「目指すべき神通川の姿」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

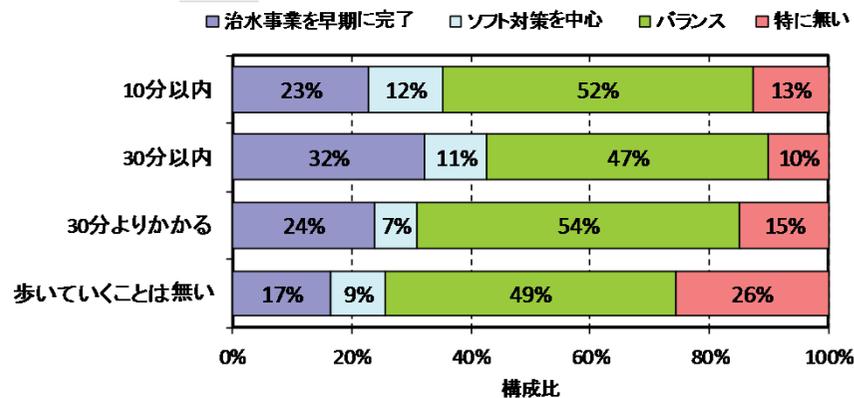
問11-① 「治水」について：治水事業※について、あなたが最も良いと思う事業の進め方を以下から1つ選択してください。

※治水事業とは、堤防整備、河道掘削、急流河川対策としての護岸整備など水害の防止・軽減を図るためのハード対策を意味する

	合計	
	回答数	構成比
治水事業を早期に完了	212	25%
ソフト対策を中心	87	10%
バランス	432	50%
特に無い	133	15%



徒歩時間別の回答比率



	10分以内		30分以内		30分よりかかる		歩いていくことは無い	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
治水事業を早期に完了	52	23%	89	32%	37	24%	34	17%
ソフト対策を中心	28	12%	29	11%	11	7%	19	9%
バランス	118	52%	130	47%	84	54%	100	49%
特に無い	29	13%	28	10%	23	15%	53	26%
合計	227	100%	276	100%	155	100%	206	100%

- 回答者の約半数の方がハードとソフトのバランスの取れた対策を行うべきと回答している。
- 徒歩時間の長さにかかわらず、バランスの取れた対策を行うべきとの回答が最も多くなっている。
- 近くの河川まで30分以内の方は、徒歩時間が長い方と比べて、治水事業を早期に完了させるべきと回答する割合が高くなっている。

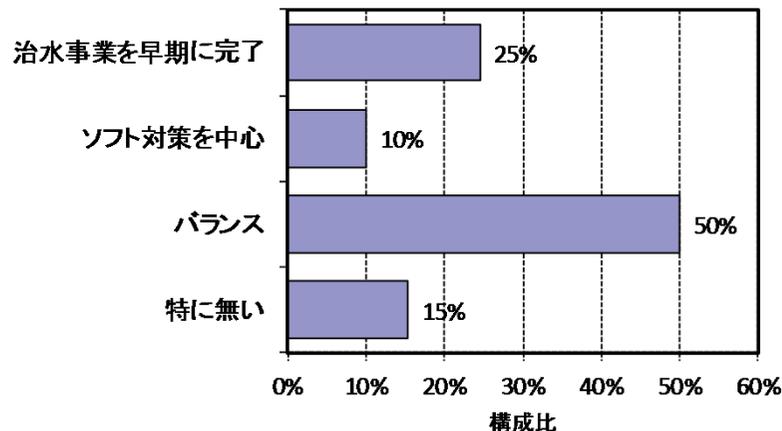
5 目指すべき神通川の姿について(治水) - 訪問頻度別 -

問11 あなたが考える「目指すべき神通川の姿」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

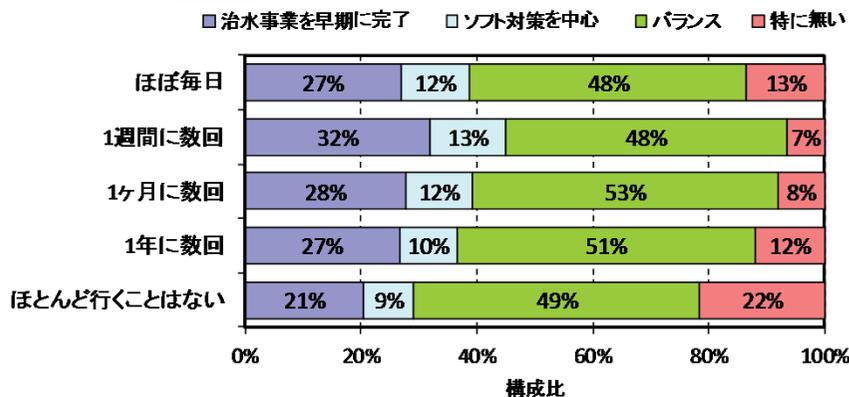
問11-① 「治水」について：治水事業※について、あなたが最も良いと思う事業の進め方を以下から1つ選択してください。

※治水事業とは、堤防整備、河道掘削、急流河川対策としての護岸整備など水害の防止・軽減を図るためのハード対策を意味する

	合計	
	回答数	構成比
治水事業を早期に完了	212	25%
ソフト対策を中心	87	10%
バランス	432	50%
特に無い	133	15%



訪問頻度別の回答比率



	ほぼ毎日		1週間に数回		1ヶ月に数回		1年に数回		ほとんど行かない	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
治水事業を早期に完了	18	27%	29	32%	31	28%	53	27%	81	21%
ソフト対策を中心	8	12%	12	13%	13	12%	20	10%	34	9%
バランス	32	48%	44	48%	59	53%	102	51%	195	49%
特に無い	9	13%	6	7%	9	8%	24	12%	85	22%
合計	67	100%	91	100%	112	100%	199	100%	395	100%

- 回答者の約半数の方がハードとソフトのバランスの取れた対策を行うべきと回答している。
- 訪問頻度の多少にかかわらず、バランスの取れた対策を行うべきとの回答が最も多くなっている。
- 1週間に数回以上訪問する回答者は、訪問頻度が少ない回答者に比べて、治水事業を早期に完了させるべきと回答する割合が多くなっている。

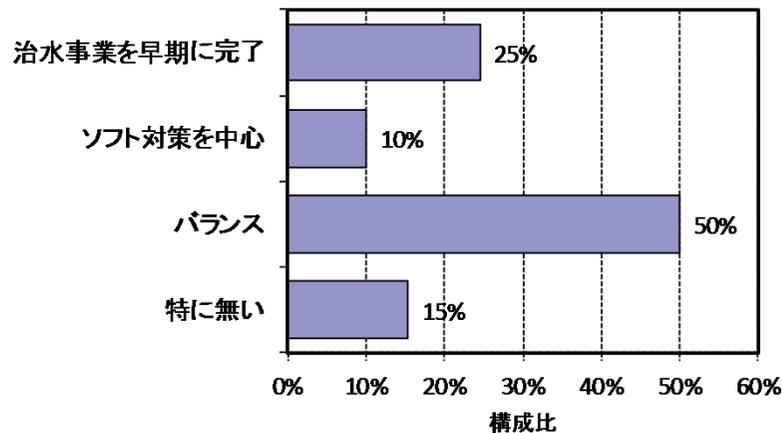
5 目指すべき神通川の姿について(治水) - 知識度別 -

問11 あなたが考える「目指すべき神通川の姿」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

問11-① 「治水」について：治水事業※について、あなたが最も良いと思う事業の進め方を以下から1つ選択してください。

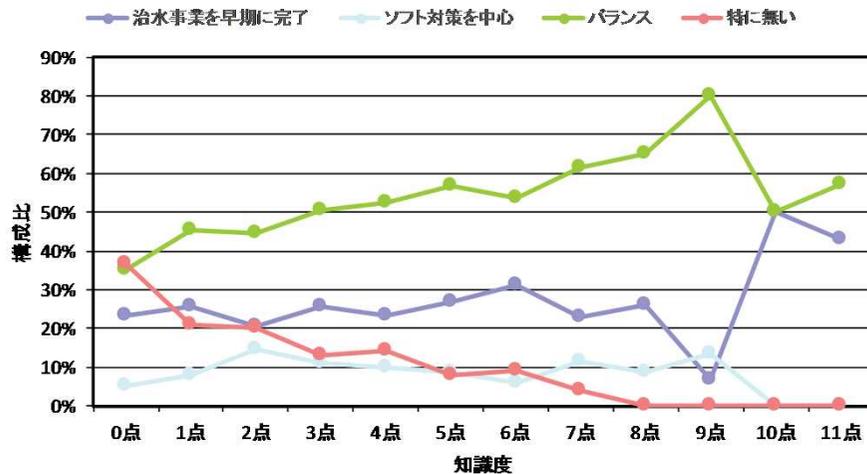
※治水事業とは、堤防整備、河道掘削、急流河川対策としての護岸整備など水害の防止・軽減を図るためのハード対策を意味する

	合計	
	回答数	構成比
治水事業を早期に完了	212	25%
ソフト対策を中心	87	10%
バランス	432	50%
特に無い	133	15%



- 回答者の半数の方がハードとソフトのバランスの取れた対策を行うべきと回答している。
- バランスの取れた対策、治水事業を早期に完了と答えた回答者の比率は、知識度が高いほど高くなっている。

知識度別の回答比率



	0点		1点		2点		3点		4点		5点		6点		7点		8点		9点		10点		11点		合計	
	回答数	構成比																								
治水事業を早期に完了	14	23%	26	26%	39	21%	37	26%	31	23%	24	27%	21	31%	6	23%	6	26%	1	7%	4	50%	3	43%	212	25%
ソフト対策を中心	3	5%	8	8%	28	15%	16	11%	13	10%	8	9%	4	6%	3	12%	2	9%	2	13%	0	0%	0	0%	87	10%
バランス	21	35%	46	46%	85	45%	73	50%	69	52%	51	57%	36	54%	16	62%	15	65%	12	80%	4	50%	4	57%	432	50%
特に無い	22	37%	21	21%	38	20%	19	13%	19	14%	7	8%	6	9%	1	4%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	133	15%
総計	60	100%	101	100%	190	100%	145	100%	132	100%	90	100%	67	100%	26	100%	23	100%	15	100%	8	100%	7	100%	864	100%

目指すべき神通川の姿について

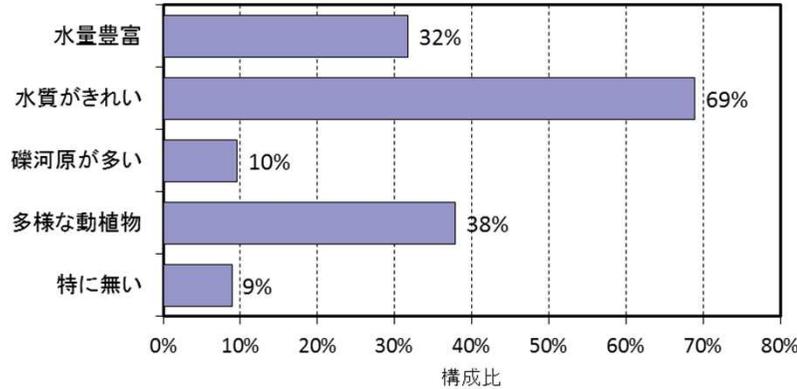
<環境>

6 目指すべき神通川の姿について(環境) 一年代別

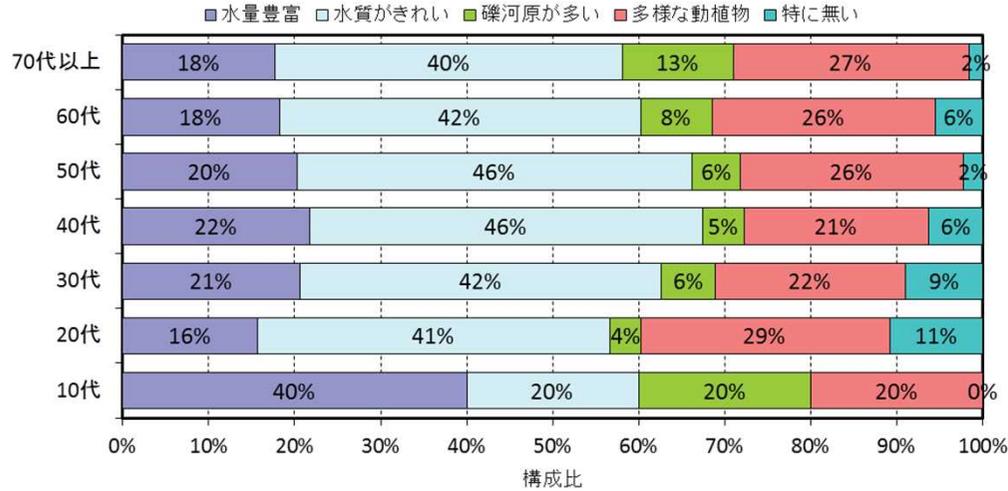
問11 あなたが考える「目指すべき神通川の姿」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

問11-②「環境」について：河川的环境について、あなたが最も良いと思う河川のイメージを以下から**全て**選択してください。

	合計	
	回答数	有効回答数に占める構成比
水量豊富	274	32%
水質がきれい	596	69%
礫河原が多い	83	10%
多様な動植物	327	38%
特に無い	77	9%



年代別の回答比率



	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比										
水量豊富	2	40%	13	16%	53	21%	90	22%	72	20%	33	18%	11	18%
水質がきれい	1	20%	34	41%	108	42%	189	46%	163	46%	76	42%	25	40%
礫河原が多い	1	20%	3	4%	16	6%	20	5%	20	6%	15	8%	8	13%
多様な動植物	1	20%	24	29%	57	22%	89	21%	92	26%	47	26%	17	27%
特に無い	0	0%	9	11%	23	9%	26	6%	8	2%	10	6%	1	2%
合計	5	100%	83	100%	257	100%	414	100%	355	100%	181	100%	62	100%

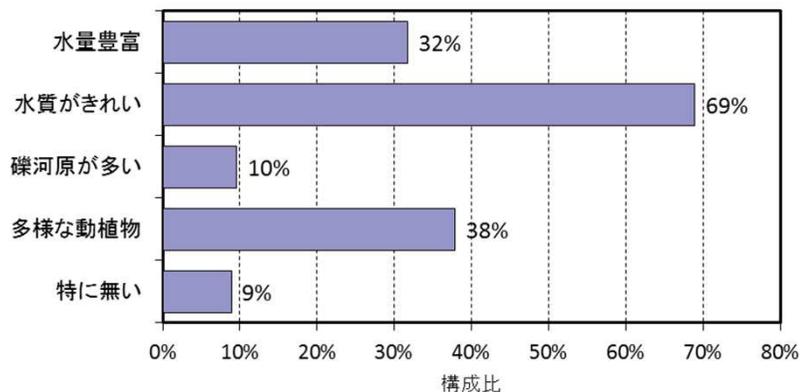
- 回答者の7割近くが水質がきれいな河川と回答している。
- ほぼ全年代において、水質がきれいな河川との回答が最も多くなっている。
- 多様な動植物を育む河川、水量が豊富な河川は回答者の約4割程度、礫河原が多い河川を選択した回答者は約1割程度にとどまった。

6 目指すべき神通川の姿について(環境) - 居住年数別 -

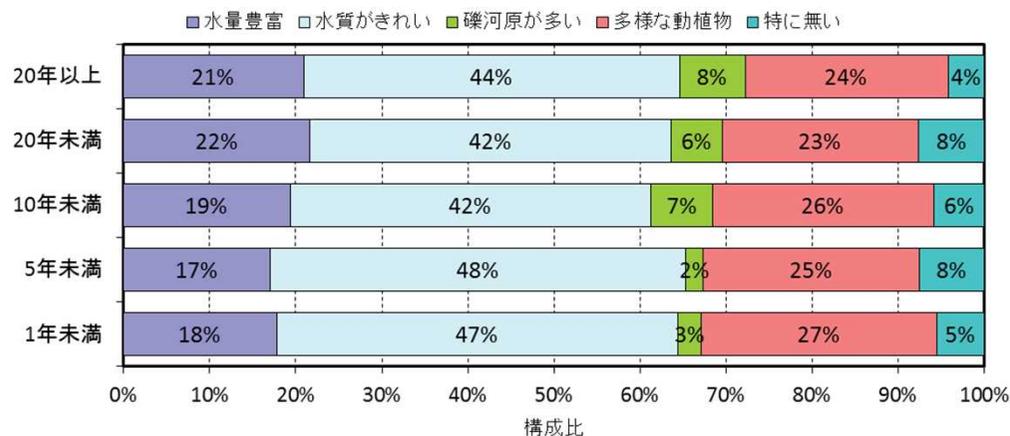
問11 あなたが考える「目指すべき神通川の姿」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

問11-②「環境」について：河川的环境について、あなたが最も良いと思う河川のイメージを以下から**全て**選択してください。

	合計	
	回答数	有効回答数に占める構成比
水量豊富	274	32%
水質がきれい	596	69%
礫河原が多い	83	10%
多様な動植物	327	38%
特に無い	77	9%



居住年数別の回答比率



	1年未満		5年未満		10年未満		20年未満		20年以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
水量豊富	13	18%	34	17%	30	19%	62	22%	135	21%
水質がきれい	34	47%	96	48%	65	42%	120	42%	281	44%
礫河原が多い	2	3%	4	2%	11	7%	17	6%	49	8%
多様な動植物	20	27%	50	25%	40	26%	65	23%	152	24%
特に無い	4	5%	15	8%	9	6%	22	8%	27	4%
合計	73	100%	199	100%	155	100%	286	100%	644	100%

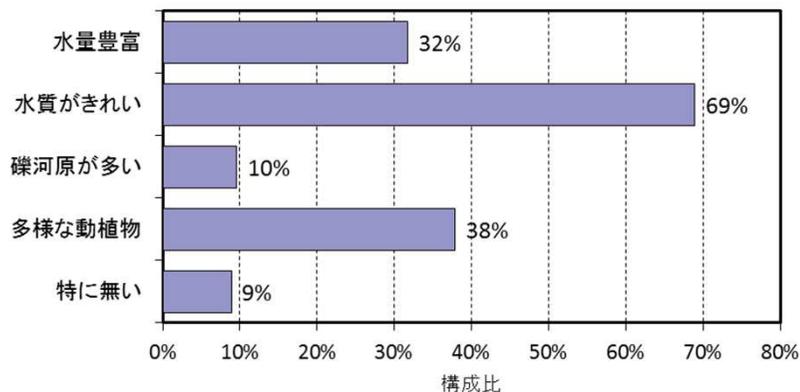
- 回答者の河川環境のイメージで最も支持が高かったのは、水質がきれいな河川で7割近くの回答者が選択している。
- 居住年数の長さにかかわらず、水質がきれいな河川との回答が最も多くなっている。
- 居住年数が長くなるにしたがい、礫河原が多い河川を選択した回答者の割合が多くなっている。
- 多様な動植物を育む河川、水量が豊富な河川は回答者の約4割程度、礫河原が多い河川を選択した回答者は約1割程度にとどまった。

6 目指すべき神通川の姿について(環境) - 徒歩時間別 -

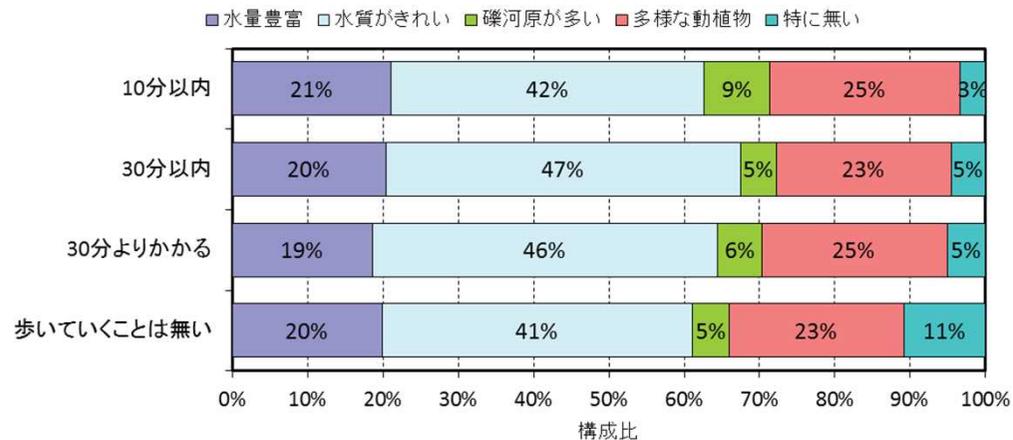
問11 あなたが考える「目指すべき神通川の姿」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

問11-②「環境」について：河川環境について、あなたが最も良いと思う河川のイメージを以下から**全て**選択してください。

	合計	
	回答数	有効回答数に占める構成比
水量豊富	274	32%
水質がきれい	596	69%
礫河原が多い	83	10%
多様な動植物	327	38%
特に無い	77	9%



徒歩時間別の回答比率



	10分以内		30分以内		30分よりかかる		歩いていくことは無い	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
水量豊富	83	21%	86	20%	44	19%	61	20%
水質がきれい	164	42%	198	47%	108	46%	126	41%
礫河原が多い	34	9%	20	5%	14	6%	15	5%
多様な動植物	100	25%	98	23%	58	25%	71	23%
特に無い	13	3%	19	5%	12	5%	33	11%
合計	394	100%	421	100%	236	100%	306	100%

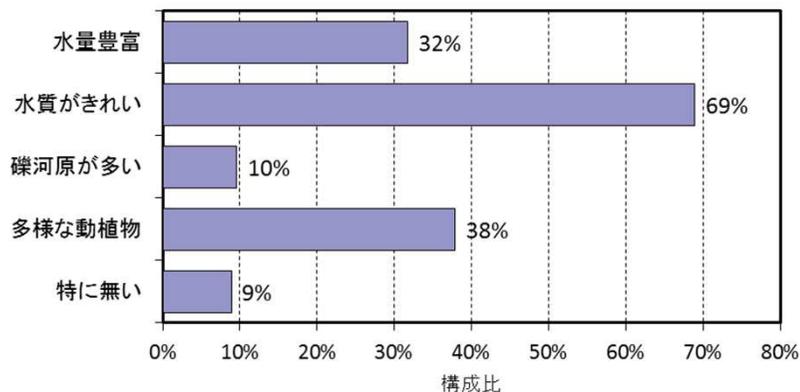
- 回答者の河川環境のイメージで最も支持が高かったのは、水質がきれいな河川で7割近くの回答者が選択している。
- 徒歩時間の長さにかかわらず、水質がきれいな河川との回答が最も多くなっている。
- 多様な動植物を育む河川、水量が豊富な河川は回答者の約4割程度、礫河原が多い河川を選択した回答者は約1割程度にとどまった。

6 目指すべき神通川の姿について(環境) - 訪問頻度別 -

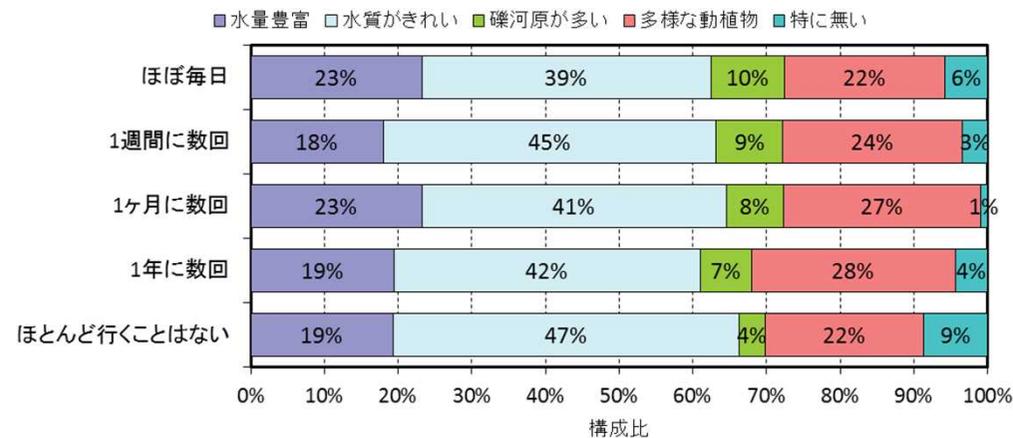
問11 あなたが考える「目指すべき神通川の姿」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

問11-②「環境」について：河川環境について、あなたが最も良いと思う河川のイメージを以下から**全て**選択してください。

	合計	
	回答数	有効回答数に占める構成比
水量豊富	274	32%
水質がきれい	596	69%
礫河原が多い	83	10%
多様な動植物	327	38%
特に無い	77	9%



訪問頻度別の回答比率



	ほぼ毎日		1週間に数回		1ヶ月に数回		1年に数回		ほとんど行かない	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
水量豊富	28	23%	26	18%	48	23%	62	19%	110	19%
水質がきれい	47	39%	65	45%	85	41%	132	42%	267	47%
礫河原が多い	12	10%	13	9%	16	8%	22	7%	20	4%
多様な動植物	26	22%	35	24%	55	27%	88	28%	123	22%
特に無い	7	6%	5	3%	2	1%	14	4%	49	9%
合計	120	100%	144	100%	206	100%	318	100%	569	100%

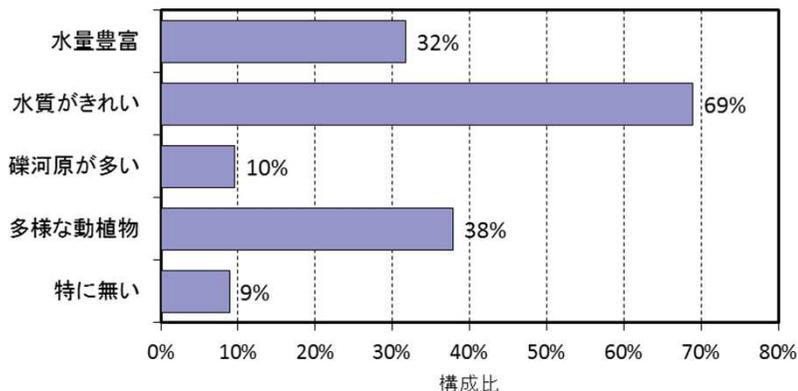
- 回答者の河川環境のイメージで最も支持が高かったのは、水質がきれいな河川で7割近くの回答者が選択している。
- 訪問頻度の多少にかかわらず、水質がきれいな河川との回答が最も多くなっている。
- 多様な動植物を育む河川、水量が豊富な河川は回答者の約4割程度、礫河原が多い河川を選択した回答者は約1割程度にとどまった。

6 目指すべき神通川の姿について(環境) - 知識度別 -

問11 あなたが考える「目指すべき神通川の姿」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

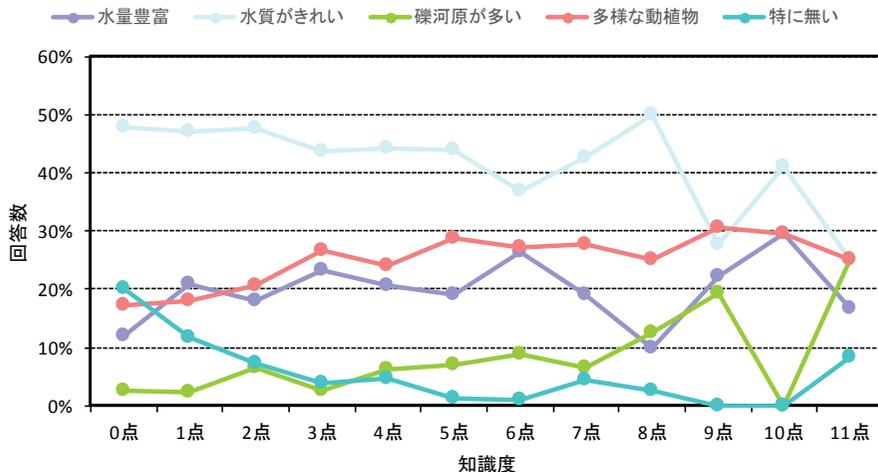
問11-②「環境」について：河川環境について、あなたが最も良いと思う河川のイメージを以下から**全て**選択してください。

	合計	
	回答数	有効回答数に占める構成比
水量豊富	274	32%
水質がきれい	596	69%
礫河原が多い	83	10%
多様な動植物	327	38%
特に無い	77	9%



- 回答者の河川環境のイメージで最も支持が高かったのは、水質がきれいな河川で7割近くの回答者が選択している。
- 水質がきれいな河川と答えた回答者の比率は、知識度が高いほど低くなっている。
- 多様な動植物と答えた回答者の比率は、知識度が高いほど高くなっている。
- 多様な動植物を育む河川、水量が豊富な河川は回答者の約4割程度、礫河原が多い河川を選択した回答者は約1割程度にとどまった。

知識度別の回答比率



	0点		1点		2点		3点		4点		5点		6点		7点		8点		9点		10点		11点		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比																						
水量豊富	9	12%	29	21%	47	18%	55	23%	44	21%	30	19%	30	26%	9	19%	4	10%	8	22%	5	29%	4	17%	274	20%
水質がきれい	36	48%	65	47%	124	48%	103	44%	94	44%	69	44%	42	37%	20	43%	20	50%	10	28%	7	41%	6	25%	596	44%
礫河原が多い	2	3%	3	2%	17	7%	6	3%	13	6%	11	7%	10	9%	3	6%	5	13%	7	19%	0	0%	6	25%	83	6%
多様な動植物	13	17%	25	18%	54	21%	63	27%	51	24%	45	29%	31	27%	13	28%	10	25%	11	31%	5	29%	6	25%	327	24%
特に無い	15	20%	16	12%	19	7%	9	4%	10	5%	2	1%	1	1%	2	4%	1	3%	0	0%	0	0%	2	8%	77	6%
総計	75	100%	138	100%	261	100%	236	100%	212	100%	157	100%	114	100%	47	100%	40	100%	36	100%	17	100%	24	100%	1357	100%

目指すべき神通川の姿について

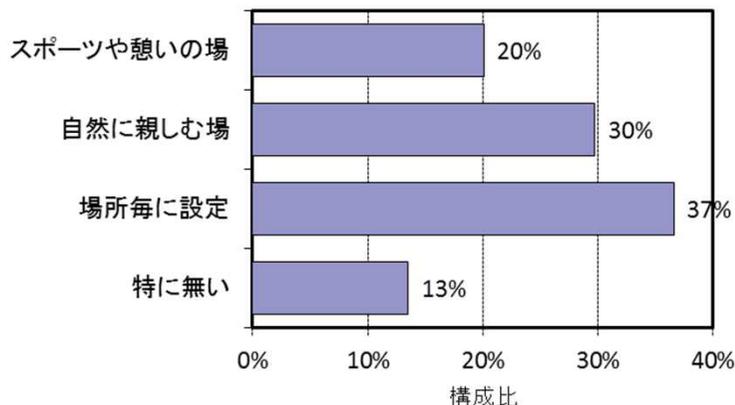
<利用>

7 目指すべき神通川の姿について(利用) 一年代別

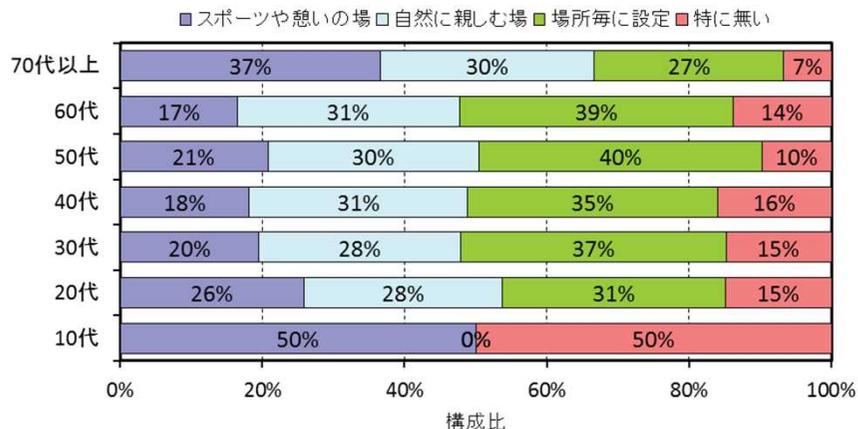
問11 あなたが考える「目指すべき神通川の姿」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

問11-3 「利用」について：河川の利用について、あなたが最も良いと思う利用形態・項目を以下から1つ選択してください。

	合計	
	回答数	構成比
スポーツや憩いの場	173	20%
自然に親しむ場	256	30%
場所毎に設定	315	37%
特に無い	116	13%



年代別の回答比率



	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比										
スポーツや憩いの場	1	50%	14	26%	33	20%	49	18%	47	21%	18	17%	11	37%
自然に親しむ場	0	0%	15	28%	48	28%	83	31%	67	30%	34	31%	9	30%
場所毎に設定	0	0%	17	31%	63	37%	95	35%	90	40%	42	39%	8	27%
特に無い	1	50%	8	15%	25	15%	43	16%	22	10%	15	14%	2	7%
合計	2	100%	54	100%	169	100%	270	100%	226	100%	109	100%	30	100%

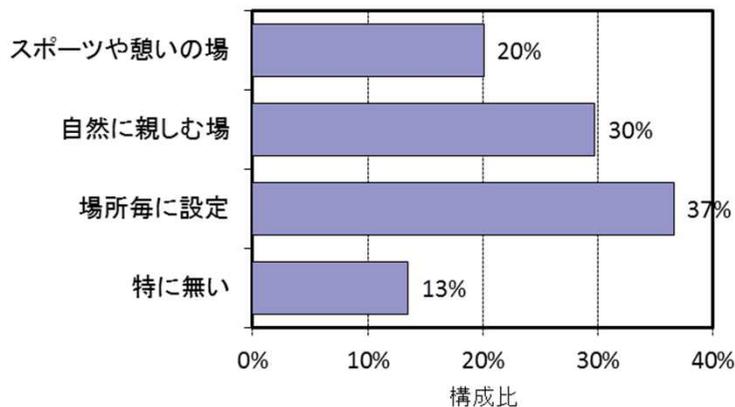
- 回答者の約4割の方は場所毎に需要や現地状況を踏まえて設定すべきと回答している。
- 自然に親しむ場と回答したのは全年代とも約30%であった。
- スポーツや憩いの場と回答したのは、20～60代で約20%程度、70代では37%となった。
- 自然に親しむ場を選択した回答者が約3割、スポーツや憩いの場を選択した回答者が約2割となっている。

7 目指すべき神通川の姿について(利用) - 居住年数別 -

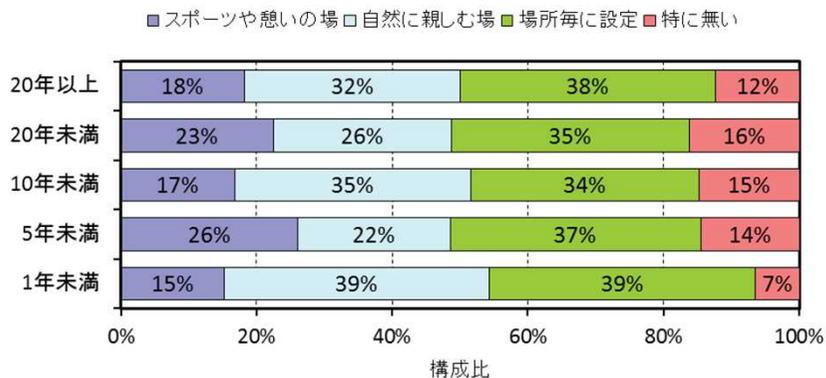
問11 あなたが考える「目指すべき神通川の姿」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

問11-3 「利用」について：河川の利用について、あなたが最も良いと思う利用形態・項目を以下から1つ選択してください。

	合計	
	回答数	構成比
スポーツや憩いの場	173	20%
自然に親しむ場	256	30%
場所毎に設定	315	37%
特に無い	116	13%



居住年数別の回答比率



	1年未満		5年未満		10年未満		20年未満		20年以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
スポーツや憩いの場	7	15%	36	26%	16	17%	43	23%	71	18%
自然に親しむ場	18	39%	31	22%	33	35%	50	26%	124	32%
場所毎に設定	18	39%	51	37%	32	34%	67	35%	147	38%
特に無い	3	7%	20	14%	14	15%	31	16%	48	12%
合計	46	100%	138	100%	95	100%	191	100%	390	100%

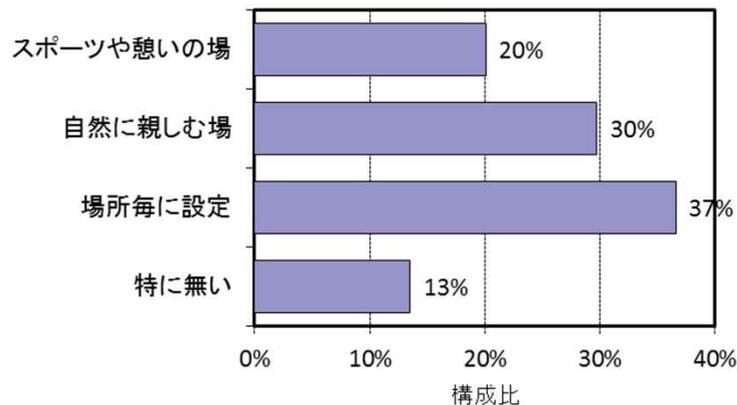
- 回答者の約4割の方は場所毎に需要や現地状況を踏まえて設定すべきと回答している。
- 居住年数の長さにかかわらず、場所毎に設定すべきとの回答が多くなっている。
- 自然に親しむ場を選択した回答者が約3割、スポーツや憩いの場を選択した回答者が約2割となっている。

7 目指すべき神通川の姿について(利用) - 徒歩時間別 -

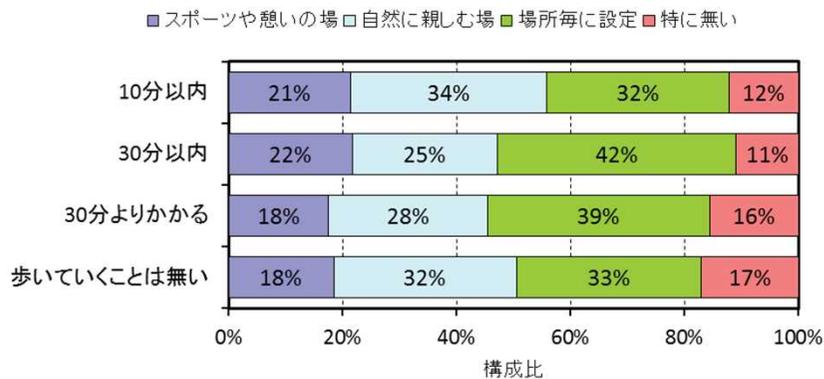
問11 あなたが考える「目指すべき神通川の姿」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

問11-3 「利用」について：河川の利用について、あなたが最も良いと思う利用形態・項目を以下から1つ選択してください。

	合計	
	回答数	構成比
スポーツや憩いの場	173	20%
自然に親しむ場	256	30%
場所毎に設定	315	37%
特に無い	116	13%



徒歩時間別の回答比率



	10分以内		30分以内		30分よりかかる		歩いていくことは無い	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
スポーツや憩いの場	48	21%	27	18%	60	22%	38	18%
自然に親しむ場	77	34%	43	28%	70	25%	66	32%
場所毎に設定	72	32%	60	39%	116	42%	67	33%
特に無い	27	12%	24	16%	30	11%	35	17%
合計	224	100%	154	100%	276	100%	206	100%

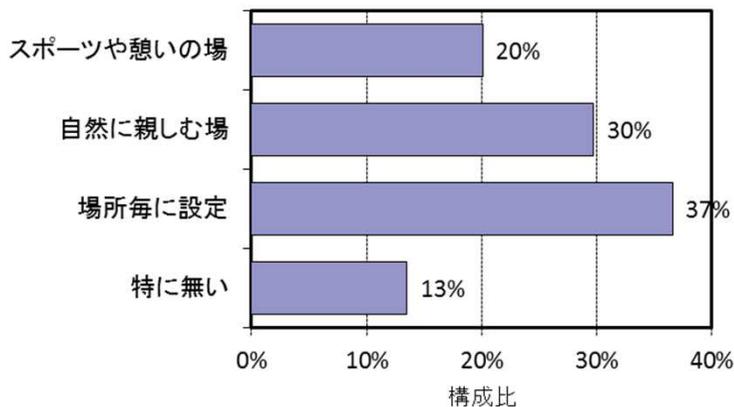
- 回答者の約4割の方は場所毎に需要や現地状況を踏まえて設定すべきと回答している。
- 徒歩時間に係らず、場所毎に設定すべきとの回答がやや多くなっている。
- 徒歩時間が10分以内、歩いていくことのない回答者では、自然に親しむ場との回答が最も多い。
- 自然に親しむ場を選択した回答者が約3割、スポーツや憩いの場を選択した回答者が約2割となっている。

7 目指すべき神通川の姿について(利用) - 訪問頻度別 -

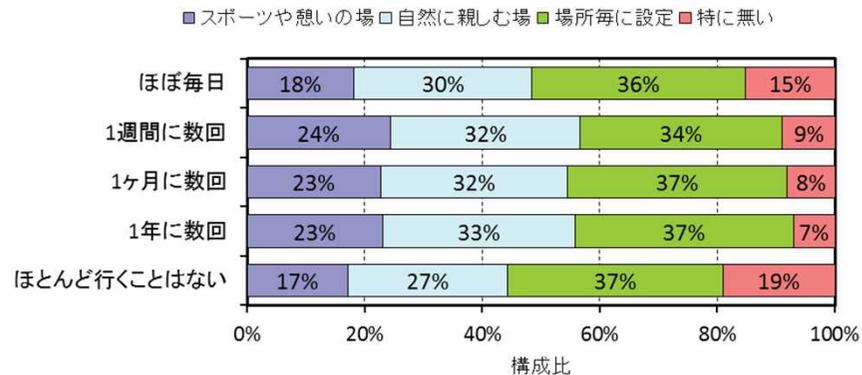
問11 あなたが考える「目指すべき神通川の姿」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

問11-3 「利用」について：河川の利用について、あなたが最も良いと思う利用形態・項目を以下から1つ選択してください。

	合計	
	回答数	構成比
スポーツや憩いの場	173	20%
自然に親しむ場	256	30%
場所毎に設定	315	37%
特に無い	116	13%



訪問頻度別の回答比率



	ほぼ毎日		1週間に数回		1ヶ月に数回		1年に数回		ほとんど行かない	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
スポーツや憩いの場	12	18%	22	24%	25	23%	46	23%	68	17%
自然に親しむ場	20	30%	29	32%	35	32%	65	33%	107	27%
場所毎に設定	24	36%	31	34%	41	37%	74	37%	145	37%
特に無い	10	15%	8	9%	9	8%	14	7%	75	19%
合計	66	100%	90	100%	110	100%	199	100%	395	100%

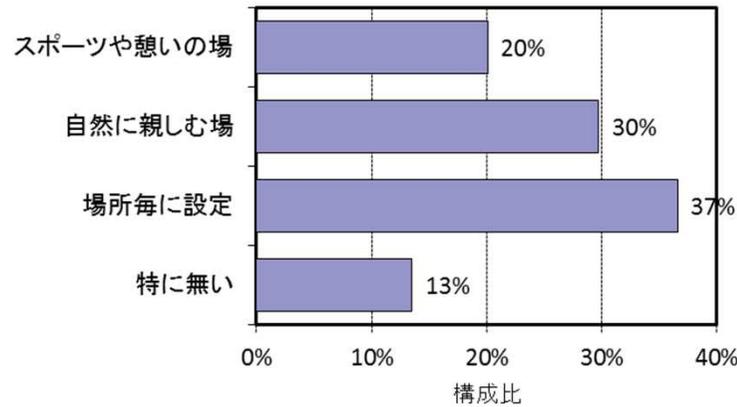
- 回答者の約4割の方は場所毎に需要や現地状況を踏まえて設定すべきと回答している。
- 訪問頻度の多少にかかわらず、場所毎に設定すべきとの回答が最も多くなっている。
- 自然に親しむ場を選択した回答者が約3割、スポーツや憩いの場を選択した回答者が約2割となっている。

7 目指すべき神通川の姿について(利用) - 知識度別 -

問11 あなたが考える「目指すべき神通川の姿」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

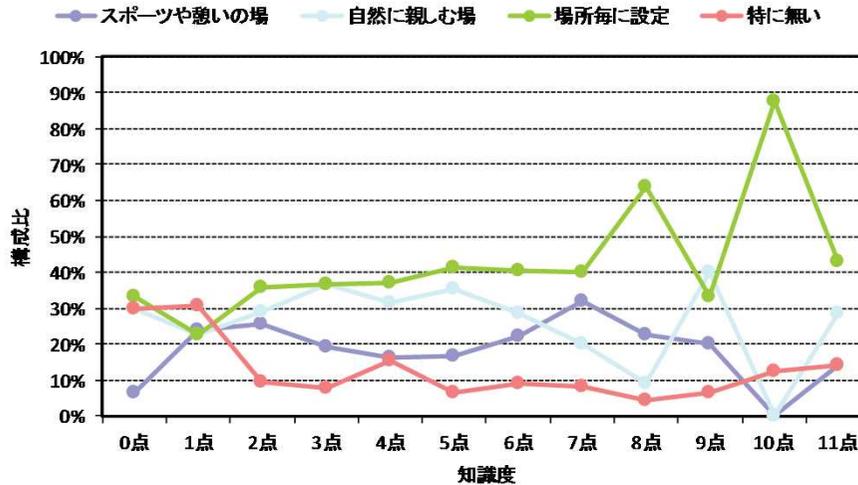
問11-3 「利用」について：河川の利用について、あなたが最も良いと思う利用形態・項目を以下から1つ選択してください。

	合計	
	回答数	構成比
スポーツや憩いの場	173	20%
自然に親しむ場	256	30%
場所毎に設定	315	37%
特に無い	116	13%



- 回答者の約4割の方は場所毎に需要や現地状況を踏まえて設定すべきと回答している。
- 場所毎に設定すべきと答えた回答者の比率は、知識度が高いほど高くなっている。
- 自然に親しむ場を選択した回答者が約3割、スポーツや憩いの場を選択した回答者が約2割となっている。

知識度別の回答比率



	0点		1点		2点		3点		4点		5点		6点		7点		8点		9点		10点		11点		合計	
	回答数	構成比																								
スポーツや憩いの場	4	7%	24	24%	49	26%	28	19%	21	16%	15	17%	15	22%	8	32%	5	23%	3	20%	0	0%	1	14%	173	20%
自然に親しむ場	18	30%	23	23%	55	29%	53	37%	41	32%	32	36%	19	28%	5	20%	2	9%	6	40%	0	0%	2	29%	256	30%
場所毎に設定	20	33%	23	23%	68	36%	53	37%	48	37%	37	41%	27	40%	10	40%	14	64%	5	33%	7	88%	3	43%	315	37%
特に無い	18	30%	31	31%	18	9%	11	8%	20	15%	6	7%	6	9%	2	8%	1	5%	1	7%	1	13%	1	14%	116	13%
総計	60	100%	101	100%	190	100%	145	100%	130	100%	90	100%	67	100%	25	100%	22	100%	15	100%	8	100%	7	100%	860	100%

神通川の河川整備の現状と将来について

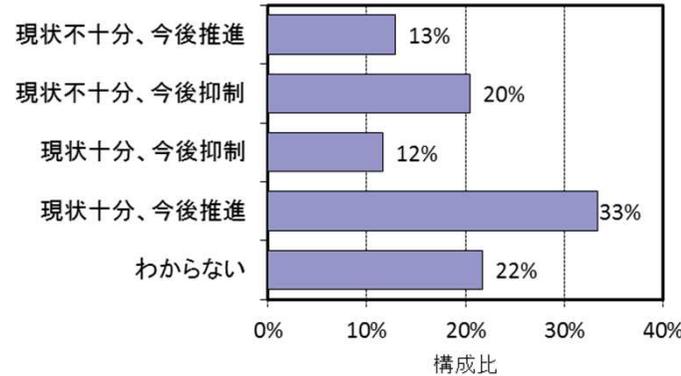
<治水>

8 神通川の河川整備の現状と将来について(治水) 一年代別

問12 あなたが考える「神通川の河川整備の現状と将来」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

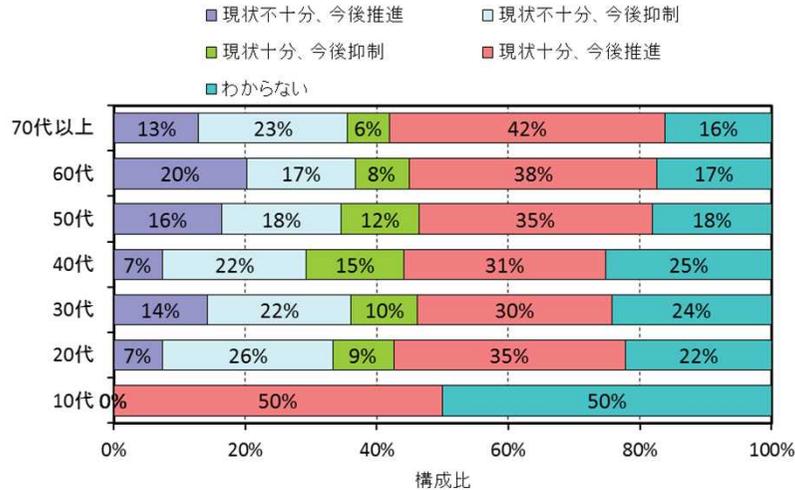
問12-① 「治水」について：治水事業※について、あなたの思いに最も近いものを以下から1つ選択してください。

	合計	
	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	111	13%
現状不十分、今後抑制	176	20%
現状十分、今後抑制	100	12%
現状十分、今後推進	287	33%
わからない	187	22%



※治水事業とは、堤防整備、河道掘削、急流河川対策としての護岸整備など水害の防止・軽減を図るためのハード対策を意味する

年代別の回答比率



	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比										
現状不十分、今後推進	0	0%	4	7%	24	14%	20	7%	37	16%	22	20%	4	13%
現状不十分、今後抑制	0	0%	14	26%	37	22%	59	22%	41	18%	18	17%	7	23%
現状十分、今後抑制	0	0%	5	9%	17	10%	40	15%	27	12%	9	8%	2	6%
現状十分、今後推進	1	50%	19	35%	50	30%	83	31%	80	35%	41	38%	13	42%
わからない	1	50%	12	22%	41	24%	68	25%	41	18%	19	17%	5	16%
合計	2	100%	54	100%	169	100%	270	100%	226	100%	109	100%	31	100%

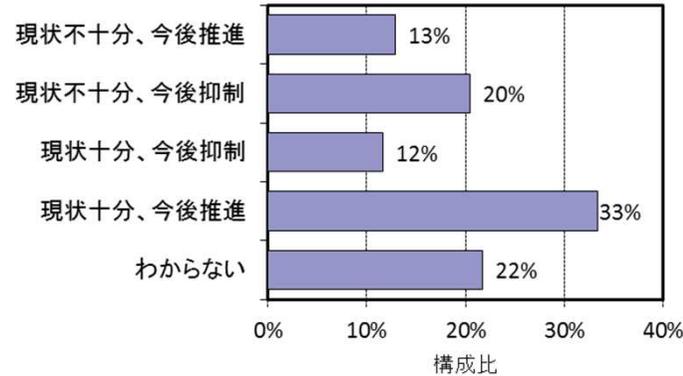
- これまでの治水事業は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答が最も多く、約3割を占めている。
- 約2割の方がわからないと回答している。
- 年代別に見ると、これまでの治水事業は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答の比率は、年代が高くなるにつれて増加している。

8 神通川の河川整備の現状と将来について(治水) - 居住年数別 -

問12 あなたが考える「神通川の河川整備の現状と将来」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

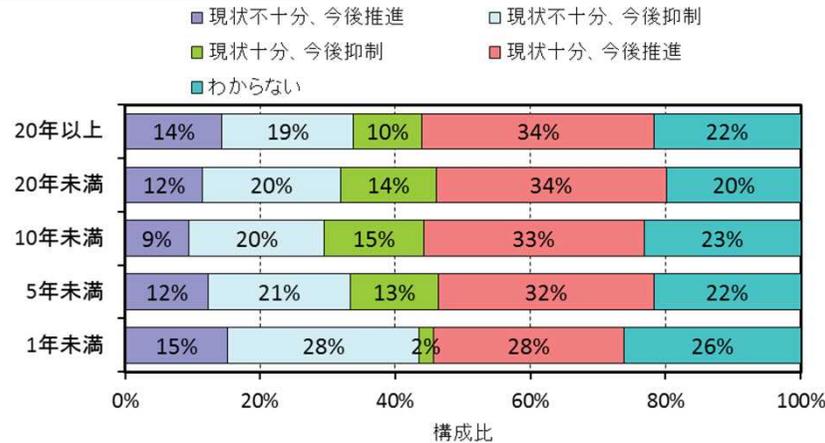
問12-① 「治水」について：治水事業※について、あなたの思いに最も近いものを以下から1つ選択してください。

	合計	
	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	111	13%
現状不十分、今後抑制	176	20%
現状十分、今後抑制	100	12%
現状十分、今後推進	287	33%
わからない	187	22%



※治水事業とは、堤防整備、河道掘削、急流河川対策としての護岸整備など水害の防止・軽減を図るためのハード対策を意味する

居住年数別の回答比率

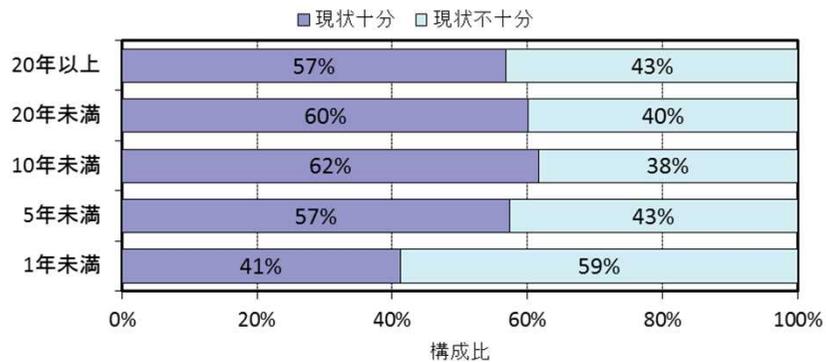
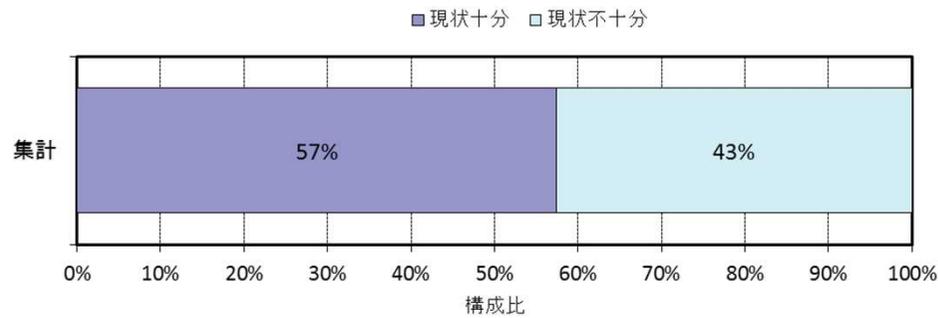


	1年未満		5年未満		10年未満		20年未満		20年以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	7	15%	17	12%	9	9%	22	12%	56	14%
現状不十分、今後抑制	13	28%	29	21%	19	20%	39	20%	76	19%
現状十分、今後抑制	1	2%	18	13%	14	15%	27	14%	40	10%
現状十分、今後推進	13	28%	44	32%	31	33%	65	34%	134	34%
わからない	12	26%	30	22%	22	23%	38	20%	85	22%
合計	46	100%	138	100%	95	100%	191	100%	391	100%

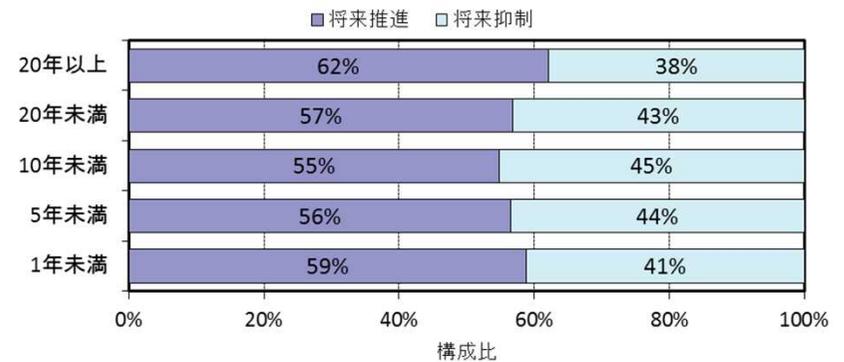
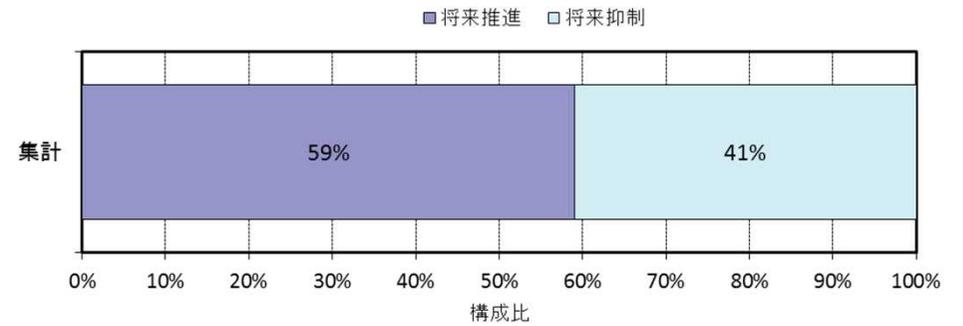
- これまでの治水事業は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答が最も多く、約3割を占めている。
- 約2割の方がわからないと回答している。
- 居住年数の長さにかかわらず、これまでの治水事業は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答が多い傾向にある。
- 居住期間が1年未満の回答者で、これまでの治水事業は不十分だと思うが、今後の事業も抑制してほしいとの回答が多くなっている。

8 神通川の河川整備の現状と将来について(治水) - 居住年数別 -

現状への思い



将来への思い



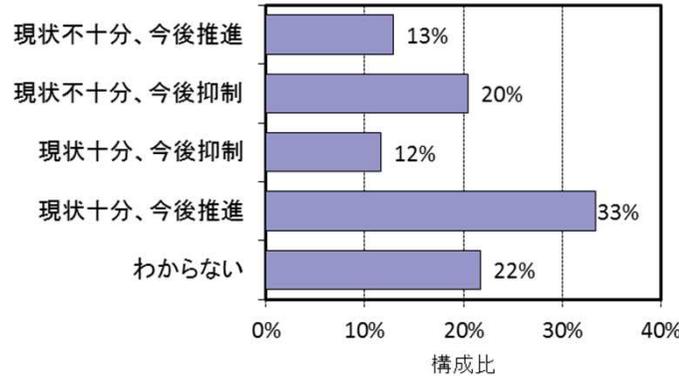
- 居住期間が1年未満の回答者は、これまでの治水事業は不十分との回答が多くなっている。

8 神通川の河川整備の現状と将来について(治水) - 徒歩時間別 -

問12 あなたが考える「神通川の河川整備の現状と将来」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

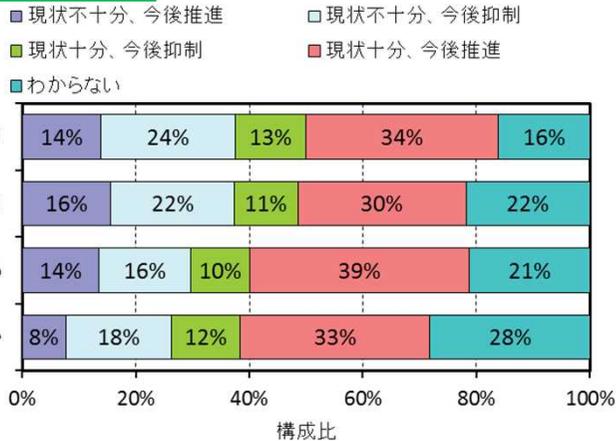
問12-① 「治水」について：治水事業※について、あなたの思いに最も近いものを以下から1つ選択してください。

	合計	
	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	111	13%
現状不十分、今後抑制	176	20%
現状十分、今後抑制	100	12%
現状十分、今後推進	287	33%
わからない	187	22%



※治水事業とは、堤防整備、河道掘削、急流河川対策としての護岸整備など水害の防止・軽減を図るためのハード対策を意味する

徒歩時間別の回答比率



	10分以内		30分以内		30分よりかかる		歩いていくことは無い	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	31	14%	43	16%	21	14%	16	8%
現状不十分、今後抑制	53	24%	60	22%	25	16%	38	18%
現状十分、今後抑制	28	13%	31	11%	16	10%	25	12%
現状十分、今後推進	76	34%	82	30%	60	39%	69	33%
わからない	36	16%	60	22%	33	21%	58	28%
合計	224	100%	276	100%	155	100%	206	100%

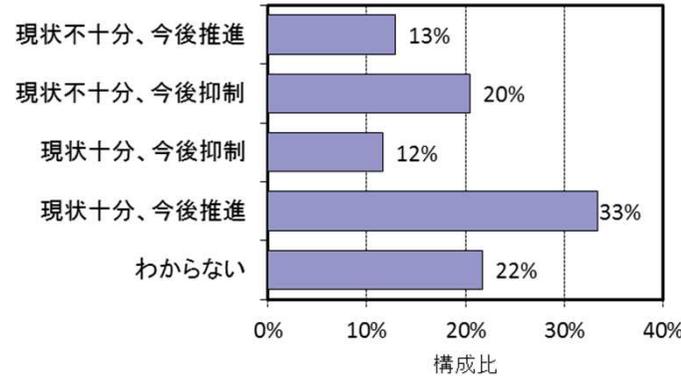
- これまでの治水事業は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答が最も多く、約3割を占めている。
- 約2割の方がわからないと回答している。
- 徒歩時間の長さにかかわらず、これまでの治水事業は十分に推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答が多い。
- 近くの河川まで30分以内の方は、徒歩時間が長い方と比べて、これまでの治水事業は不十分だと思うと回答する割合が多くなっている。

8 神通川の河川整備の現状と将来について(治水) - 訪問頻度別 -

問12 あなたが考える「神通川の河川整備の現状と将来」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

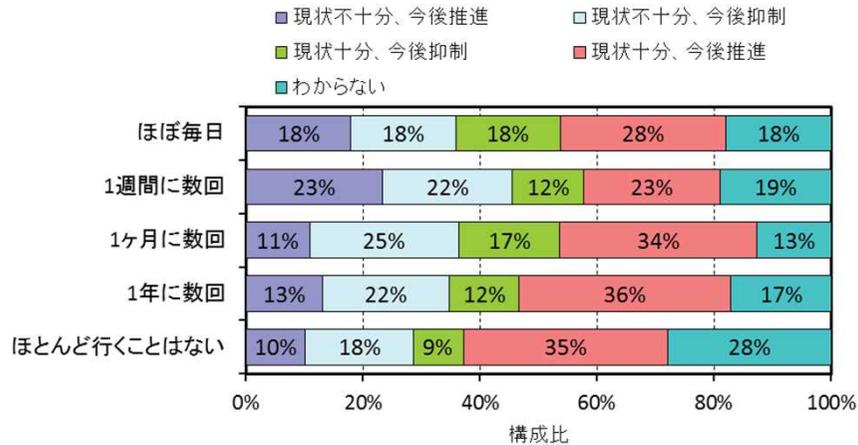
問12-① 「治水」について：治水事業※について、あなたの思いに最も近いものを以下から1つ選択してください。

	合計	
	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	111	13%
現状不十分、今後抑制	176	20%
現状十分、今後抑制	100	12%
現状十分、今後推進	287	33%
わからない	187	22%



※治水事業とは、堤防整備、河道掘削、急流河川対策としての護岸整備など水害の防止・軽減を図るためのハード対策を意味する

訪問頻度別の回答比率



	ほぼ毎日		1週間に数回		1ヶ月に数回		1年に数回		ほとんど行かない	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	12	18%	21	23%	12	11%	26	13%	40	10%
現状不十分、今後抑制	12	18%	20	22%	28	25%	43	22%	73	18%
現状十分、今後抑制	12	18%	11	12%	19	17%	24	12%	34	9%
現状十分、今後推進	19	28%	21	23%	37	34%	72	36%	138	35%
わからない	12	18%	17	19%	14	13%	34	17%	110	28%
合計	67	100%	90	100%	110	100%	199	100%	395	100%

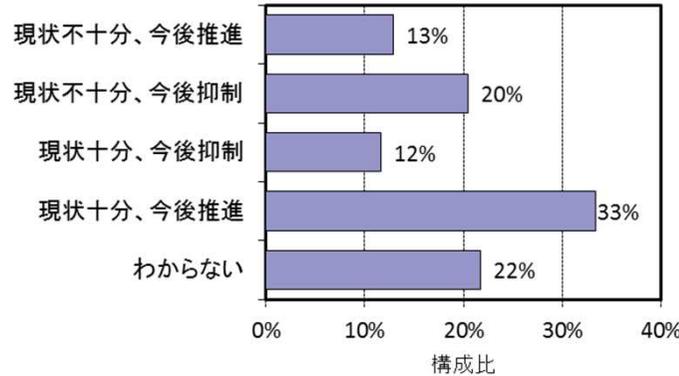
- これまでの治水事業は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答が最も多く、約3割を占めている。
- 約2割の方がわからないと回答している。
- 訪問頻度の多少にかかわらず、これまでの治水事業は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答が多い傾向にある。
- 1週間に数回以上訪問する回答者は、訪問頻度が少ない回答者に比べて、これまでの治水事業は不十分だと思うと回答する割合が多くなっている。

8 神通川の河川整備の現状と将来について(治水) - 知識度別 -

問12 あなたが考える「神通川の河川整備の現状と将来」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

問12-① 「治水」について：治水事業※について、あなたの思いに最も近いものを以下から1つ選択してください。

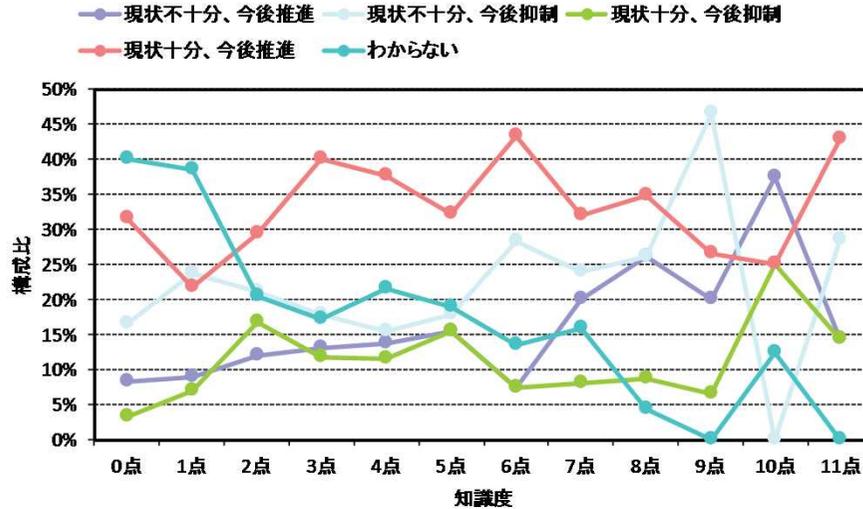
	合計	
	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	111	13%
現状不十分、今後抑制	176	20%
現状十分、今後抑制	100	12%
現状十分、今後推進	287	33%
わからない	187	22%



※治水事業とは、堤防整備、河道掘削、急流河川対策としての護岸整備など水害の防止・軽減を図るためのハード対策を意味する

- これまでの治水事業は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答が最も多く、約3割を占めている。
- 約2割の方がわからないと回答している。
- これまでの治水事業は不十分だと思うため、今後も推進してほしいと答えた回答者の比率は、知識度が高くなるほど高くなっている。

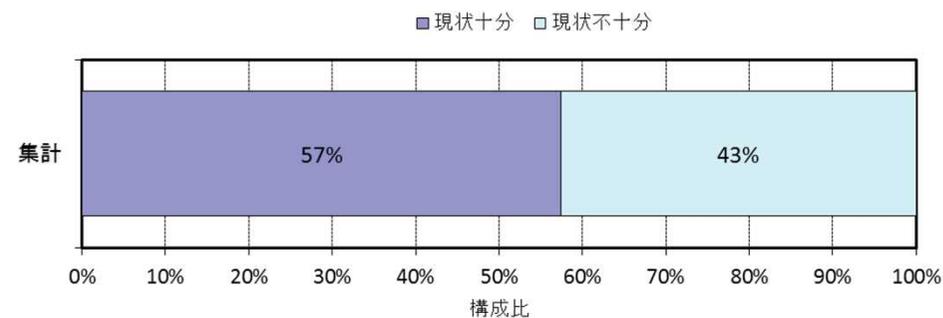
知識度別の回答比率



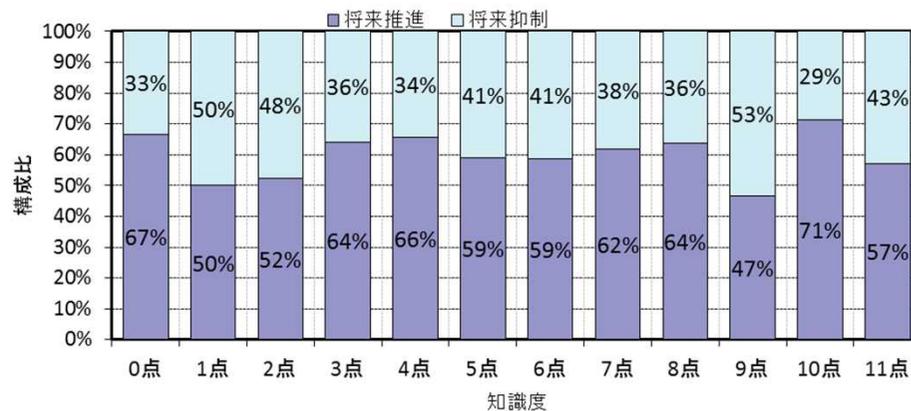
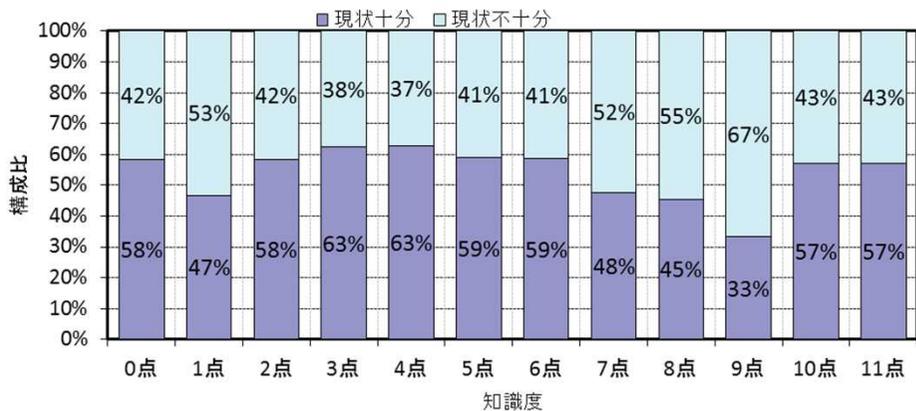
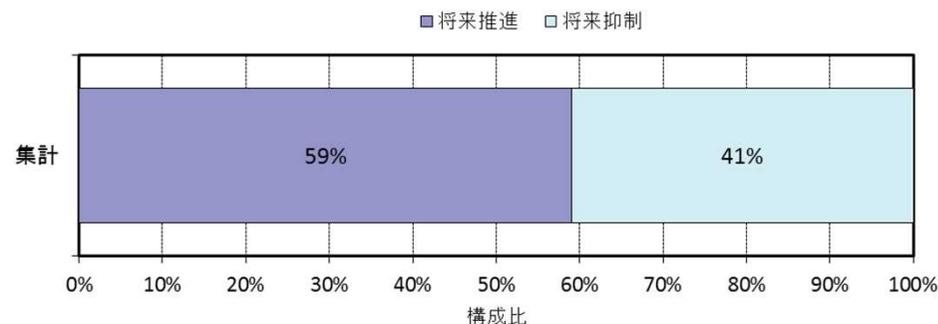
	0点		1点		2点		3点		4点		5点		6点		7点		8点		9点		10点		11点		合計	
	回答数	構成比																								
現状不十分、今後推進	5	8%	9	9%	23	12%	19	13%	18	14%	14	16%	5	7%	5	20%	6	26%	3	20%	3	38%	1	14%	111	13%
現状不十分、今後抑制	10	17%	24	24%	40	21%	26	18%	20	15%	16	18%	19	28%	6	24%	6	26%	7	47%	0	0%	2	29%	176	20%
現状十分、今後抑制	2	3%	7	7%	32	17%	17	12%	15	12%	14	16%	5	7%	2	8%	2	9%	1	7%	2	25%	1	14%	100	12%
現状十分、今後推進	19	32%	22	22%	56	29%	58	40%	49	38%	29	32%	29	43%	8	32%	8	35%	4	27%	2	25%	3	43%	287	33%
わからない	24	40%	39	39%	39	21%	25	17%	28	22%	17	19%	9	13%	4	16%	1	4%	0	0%	1	13%	0	0%	187	22%
総計	60	100%	101	100%	190	100%	145	100%	130	100%	90	100%	67	100%	25	100%	23	100%	15	100%	8	100%	7	100%	861	100%

8 神通川の河川整備の現状と将来について(治水) — 知識度別 —

現状への思い



将来への思い



- 全体的には、これまでの治水事業は十分推進してきているとの回答が多いが、これまでの治水事業を不十分との回答の比率は、知識度が高いほど高くなる傾向がある。
- 将来への思いについては、今後推進すべきと答えた回答者は60%程度であった。
- 知識度別に明確な傾向は無い。

神通川の河川整備の現状と将来について

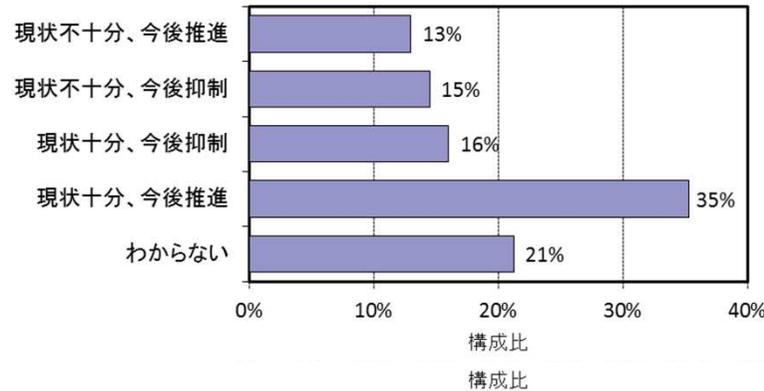
<環境>

9 神通川の河川整備の現状と将来について(環境) 一年代別

問12 あなたが考える「神通川の河川整備の現状と将来」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

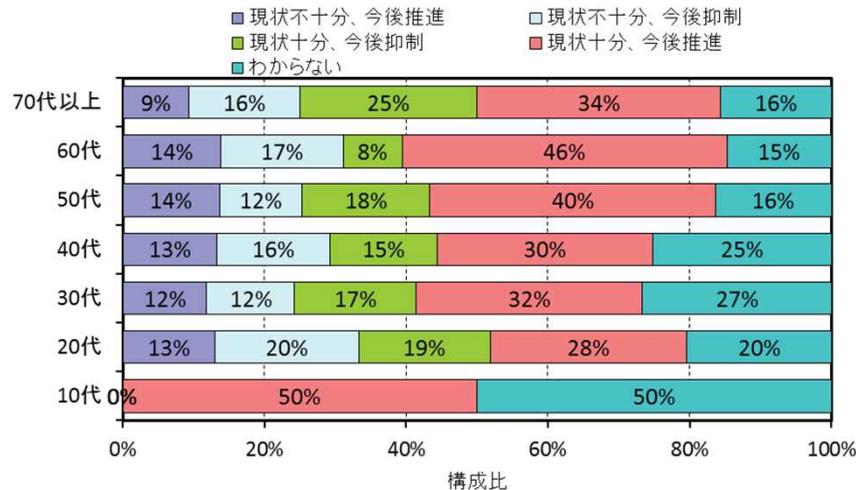
問12-②「環境」について：河川環境の保全・再生※について、あなたの思いに最も近いものを以下から1つ選択してください。

	合計	
	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	112	13%
現状不十分、今後抑制	125	15%
現状十分、今後抑制	138	16%
現状十分、今後推進	304	35%
わからない	183	21%



※河川環境の保全・再生とは、自然再生、水辺の楽校整備、魚道の設置などの整備を意味する

年代別の回答比率



- これまでの河川環境の保全・再生事業は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答が最も多く、3割以上を占めている。
- 約2割の方がわからないと回答している。
- 年代別に見ると、これまでの河川環境の保全・再生事業は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答の比率は、各年代において最も高くなっている。

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比										
現状不十分、今後推進	0	0%	7	13%	20	12%	36	13%	31	14%	15	14%	3	9%
現状不十分、今後抑制	0	0%	11	20%	21	12%	43	16%	26	12%	19	17%	5	16%
現状十分、今後抑制	0	0%	10	19%	29	17%	41	15%	41	18%	9	8%	8	25%
現状十分、今後推進	1	50%	15	28%	54	32%	82	30%	91	40%	50	46%	11	34%
わからない	1	50%	11	20%	45	27%	68	25%	37	16%	16	15%	5	16%
合計	2	100%	54	100%	169	100%	270	100%	226	100%	109	100%	32	100%

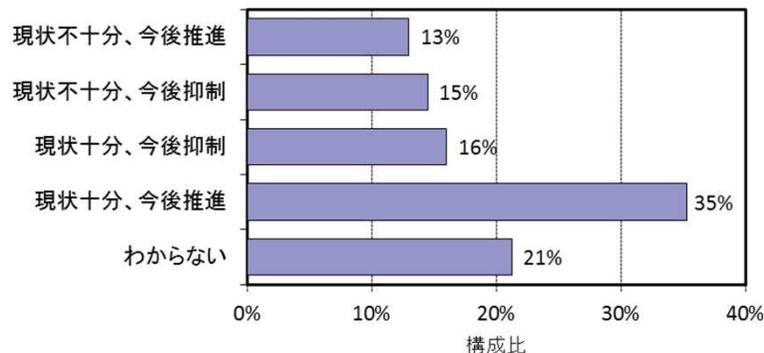
9 神通川の河川整備の現状と将来について(環境) - 居住年数別 -

問12 あなたが考える「神通川の河川整備の現状と将来」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

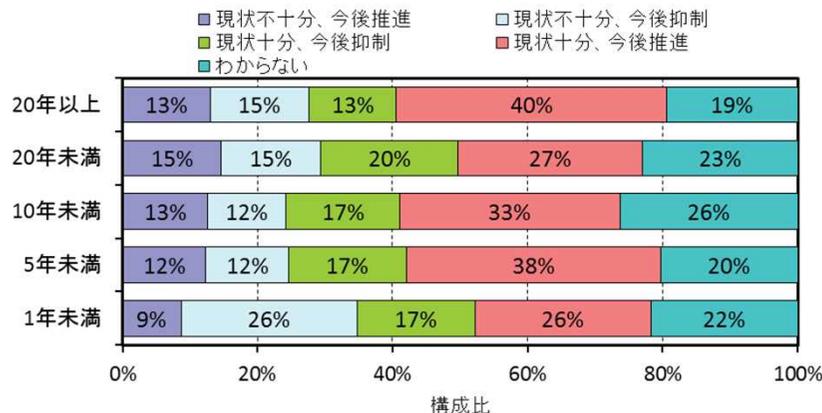
問12-②「環境」について：河川環境の保全・再生※について、あなたの思いに最も近いものを以下から1つ選択してください。

※河川環境の保全・再生とは、自然再生、水辺の楽校整備、魚道の設置などの整備を意味する

	合計	
	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	112	13%
現状不十分、今後抑制	125	15%
現状十分、今後抑制	138	16%
現状十分、今後推進	304	35%
わからない	183	21%



居住年数別の回答比率

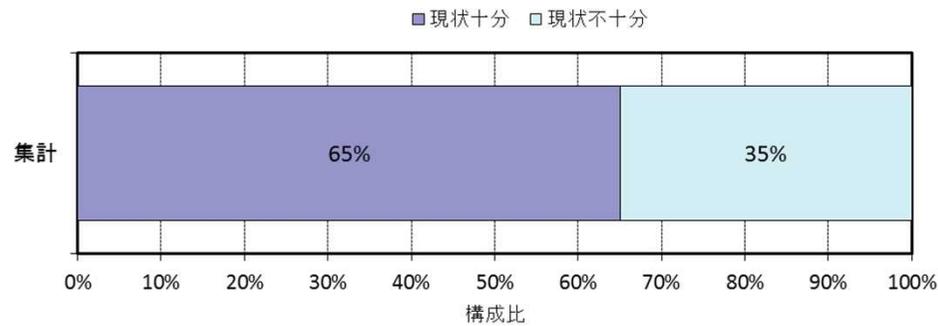


	1年未満		5年未満		10年未満		20年未満		20年以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	4	9%	17	12%	12	13%	28	15%	51	13%
現状不十分、今後抑制	12	26%	17	12%	11	12%	28	15%	57	15%
現状十分、今後抑制	8	17%	24	17%	16	17%	39	20%	51	13%
現状十分、今後推進	12	26%	52	38%	31	33%	52	27%	157	40%
わからない	10	22%	28	20%	25	26%	44	23%	76	19%
合計	46	100%	138	100%	95	100%	191	100%	392	100%

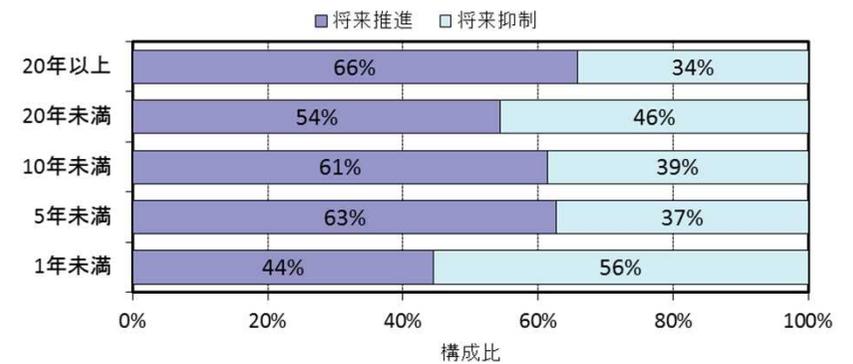
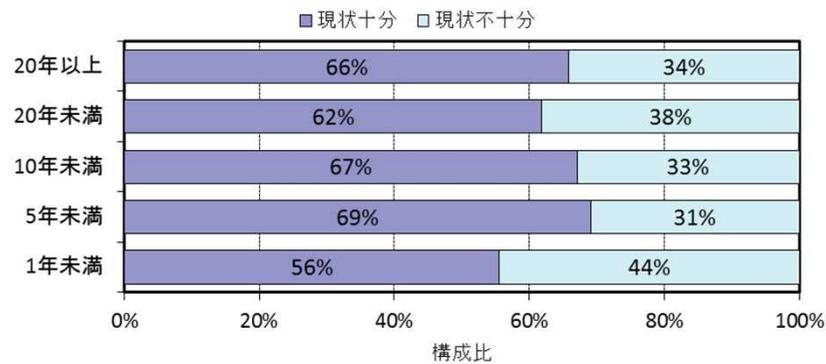
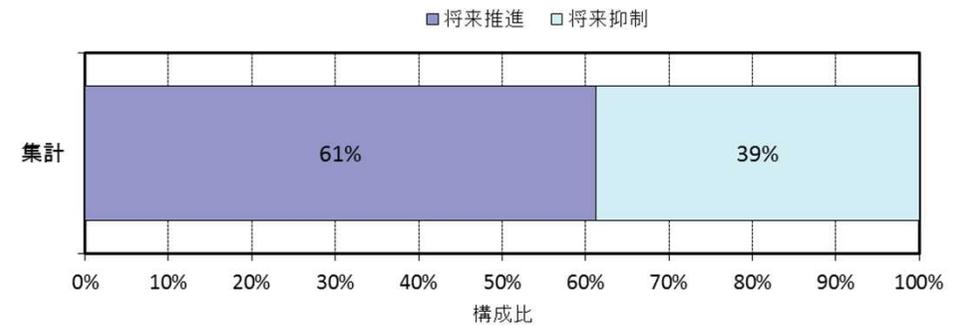
- これまでの河川環境の保全・再生事業は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答が最も多く、3割以上を占めている。
- 約2割の方がわからないと回答している。
- 居住年数の長さにかかわらず、これまでの河川環境の保全・再生事業は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答が多い。
- 居住期間が1年未満の回答者で、これまでの河川環境の保全・再生事業は不十分だと思うが、今後の事業も抑制してほしいとの回答が多くなっている。

9 神通川の河川整備の現状と将来について(環境) - 居住年数別 -

現状への思い



将来への思い



- 居住期間が1年未満の回答者に、これからの河川環境の保全・再生事業は抑制してほしいとの回答が多くなっている。

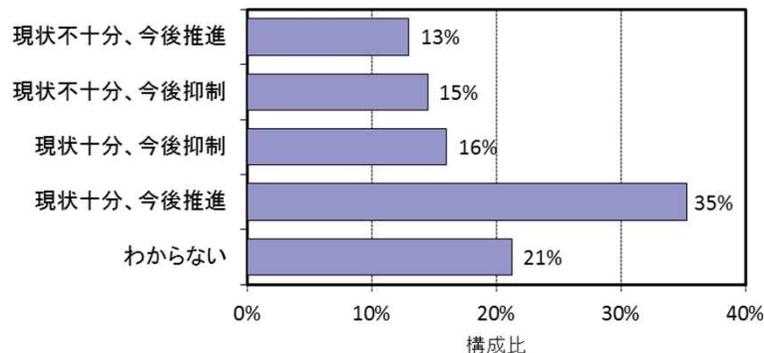
9 神通川の河川整備の現状と将来について(環境) - 徒歩時間別 -

問12 あなたが考える「神通川の河川整備の現状と将来」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

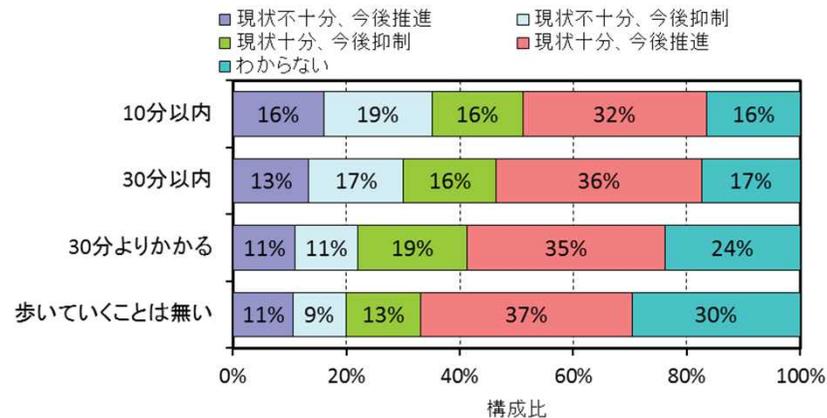
問12-②「環境」について：河川環境の保全・再生※について、あなたの思いに最も近いものを以下から1つ選択してください。

※河川環境の保全・再生とは、自然再生、水辺の楽校整備、魚道の設置などの整備を意味する

	合計	
	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	112	13%
現状不十分、今後抑制	125	15%
現状十分、今後抑制	138	16%
現状十分、今後推進	304	35%
わからない	183	21%



徒歩時間別の回答比率



	10分以内		30分以内		30分よりかかる		歩いていくことは無い	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	36	16%	37	13%	17	11%	22	11%
現状不十分、今後抑制	43	19%	46	17%	17	11%	19	9%
現状十分、今後抑制	36	16%	45	16%	30	19%	27	13%
現状十分、今後推進	73	32%	100	36%	54	35%	77	37%
わからない	37	16%	48	17%	37	24%	61	30%
合計	225	100%	276	100%	155	100%	206	100%

- これまでの河川環境の保全・再生事業は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答が最も多く、3割以上を占めている。
- 約2割の方がわからないと回答している。
- 徒歩時間の長さにかかわらず、これまでの河川環境の保全・再生事業は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答が多い。
- 近くの河川まで30分以内の方は、徒歩時間が長い方と比べて、これまでの河川環境の保全・再生事業は不十分だと思いと回答する割合が多くなっている。

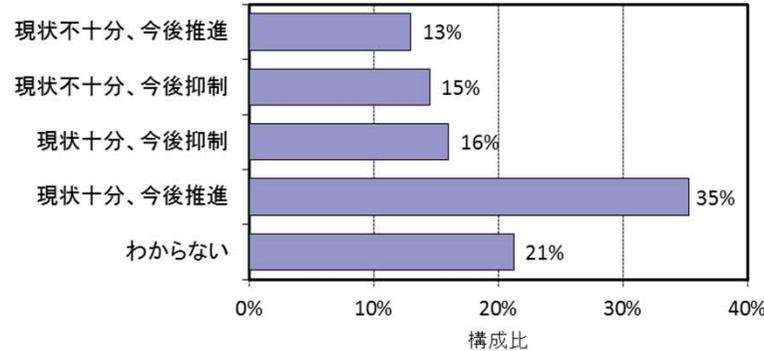
9 神通川の河川整備の現状と将来について(環境) - 訪問頻度別 -

問12 あなたが考える「神通川の河川整備の現状と将来」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

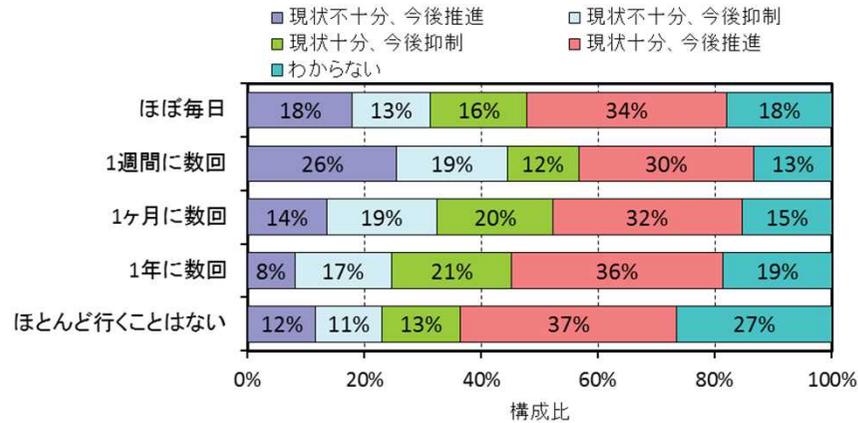
問12-②「環境」について：河川環境の保全・再生※について、あなたの思いに最も近いものを以下から1つ選択してください。

※河川環境の保全・再生とは、自然再生、水辺の築校整備、魚道の設置などの整備を意味する

	合計	
	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	112	13%
現状不十分、今後抑制	125	15%
現状十分、今後抑制	138	16%
現状十分、今後推進	304	35%
わからない	183	21%



訪問頻度別の回答比率



	ほぼ毎日		1週間に数回		1ヶ月に数回		1年に数回		ほとんど行かない	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	12	18%	23	26%	15	14%	16	8%	46	12%
現状不十分、今後抑制	9	13%	17	19%	21	19%	33	17%	45	11%
現状十分、今後抑制	11	16%	11	12%	22	20%	41	21%	53	13%
現状十分、今後推進	23	34%	27	30%	36	32%	72	36%	146	37%
わからない	12	18%	12	13%	17	15%	37	19%	105	27%
合計	67	100%	90	100%	111	100%	199	100%	395	100%

- これまでの河川環境の保全・再生事業は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答が最も多く、3割以上を占めている。
- 約2割の方がわからないと回答している。
- 訪問頻度の多少にかかわらず、これまでの河川環境の保全・再生事業は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答が多い。
- 1週間に数回以上近くの河川に訪問する回答者は、訪問頻度が少ない回答者比べて、これまでの河川環境の保全・再生事業は不十分だと思うと回答する割合が多くなっている。

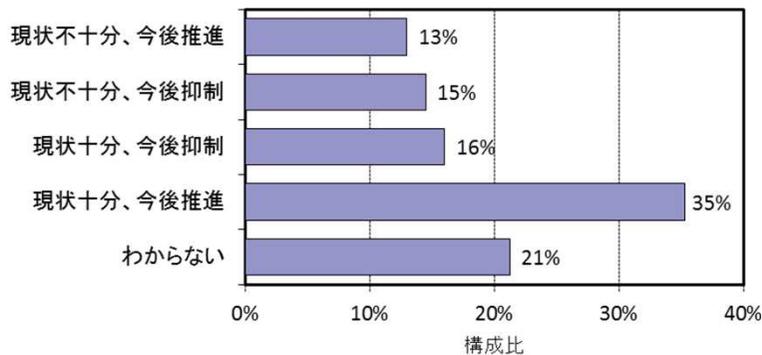
9 神通川の河川整備の現状と将来について(環境) - 知識度別 -

問12 あなたが考える「神通川の河川整備の現状と将来」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

問12-②「環境」について：河川環境の保全・再生※について、あなたの思いに最も近いものを以下から1つ選択してください。

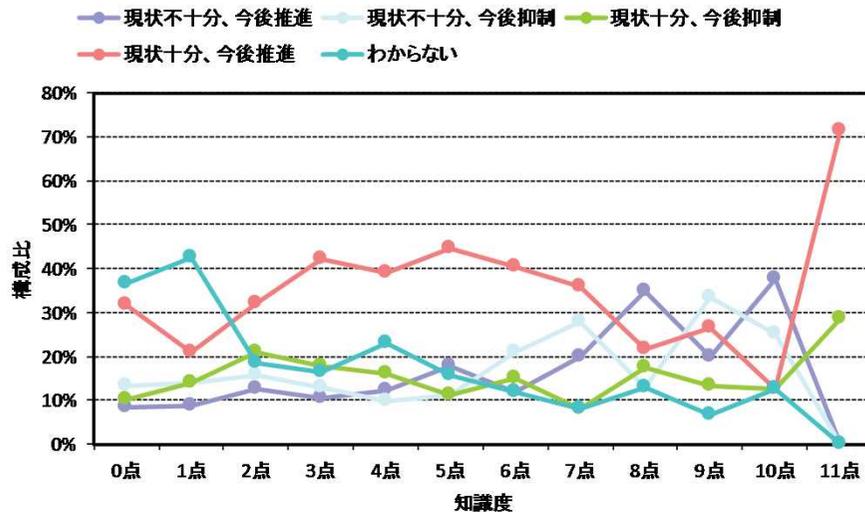
※河川環境の保全・再生とは、自然再生、水辺の築校整備、魚道の設置などの整備を意味する

	合計	
	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	112	13%
現状不十分、今後抑制	125	15%
現状十分、今後抑制	138	16%
現状十分、今後推進	304	35%
わからない	183	21%



- これまでの河川環境の保全・再生事業は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答が最も多く、3割以上を占めている。
- 約2割の方がわからないと回答している。
- これまでの河川環境の保全・再生事業は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答の比率は、知識度が高いほど低くなっている傾向がある。

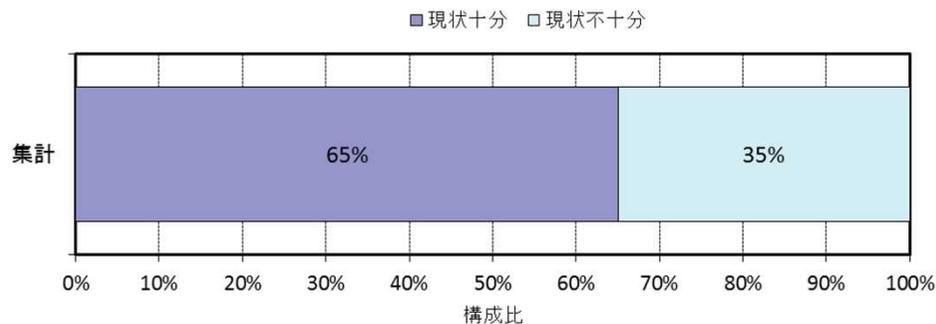
知識度別の回答比率



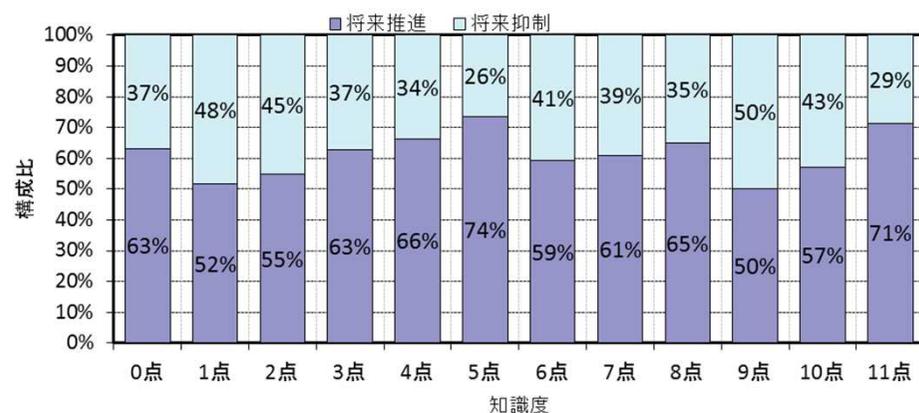
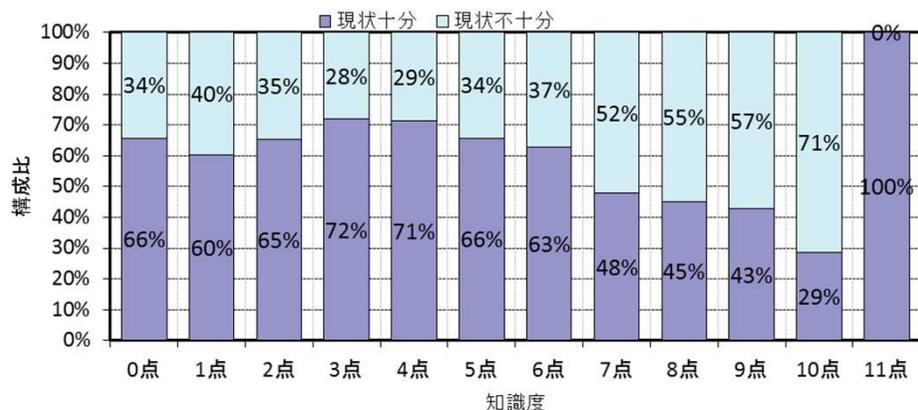
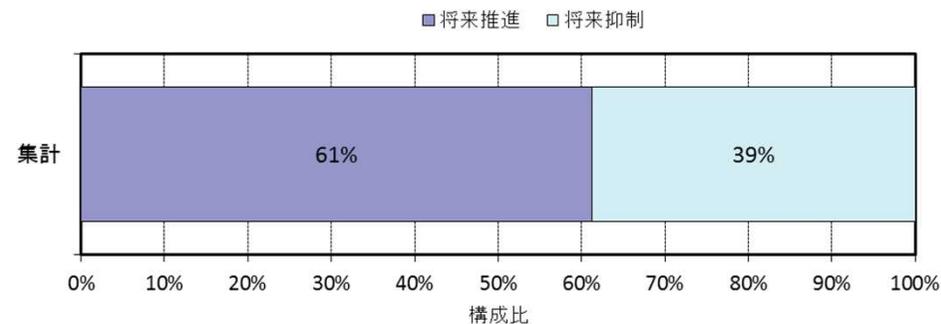
	0点		1点		2点		3点		4点		5点		6点		7点		8点		9点		10点		11点		合計	
	回答数	構成比																								
現状不十分、今後推進	5	8%	9	9%	24	13%	15	10%	16	12%	16	18%	8	12%	5	20%	8	35%	3	20%	3	38%	0	0%	112	13%
現状不十分、今後抑制	8	13%	14	14%	30	16%	19	13%	13	10%	10	11%	14	21%	7	28%	3	13%	5	33%	2	25%	0	0%	125	15%
現状十分、今後抑制	6	10%	14	14%	40	21%	26	18%	21	16%	10	11%	10	15%	2	8%	4	17%	2	13%	1	13%	2	29%	138	16%
現状十分、今後推進	19	32%	21	21%	61	32%	61	42%	51	39%	40	44%	27	40%	9	36%	5	22%	4	27%	1	13%	5	71%	304	35%
わからない	22	37%	43	43%	35	18%	24	17%	30	23%	14	16%	8	12%	2	8%	3	13%	1	7%	1	13%	0	0%	183	21%
総計	60	100%	101	100%	190	100%	145	100%	131	100%	90	100%	67	100%	25	100%	23	100%	15	100%	8	100%	7	100%	862	100%

9 神通川の河川整備の現状と将来について(環境) — 知識度別 —

現状への思い



将来への思い



- 全体的には、これまでの河川環境の保全・再生事業は十分推進してきているとの回答が多いが、これまでの河川環境の保全・再生事業を不十分との回答の比率は、知識度が高いほど高くなる傾向がある。
- 将来への思いについては、今後推進すべきと答えた回答者は60%程度であった。
- 知識度別に明確な傾向は無い。

神通川の河川整備の現状と将来について

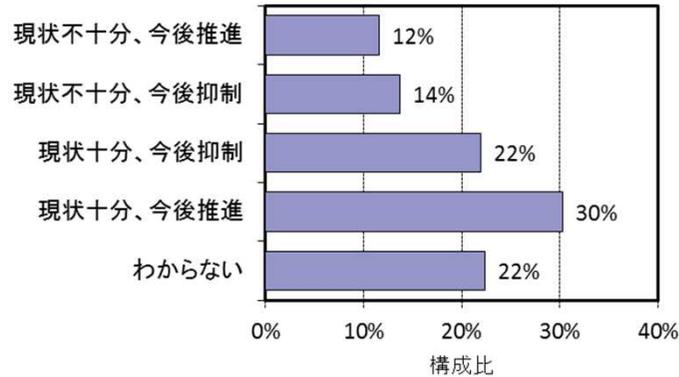
<利用>

10 神通川の河川整備の現状と将来について(利用) 一年代別

問12 あなたが考える「神通川の河川整備の現状と将来」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

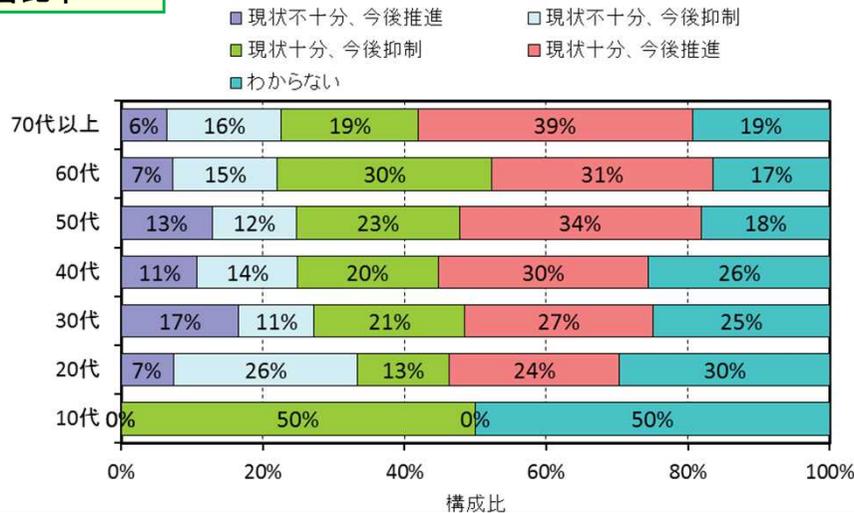
問12-③ 「利用」について：河川利用施設※の整備について、あなたの思いに最も近いものを以下から1つ選択してください。

	合計	
	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	100	12%
現状不十分、今後抑制	118	14%
現状十分、今後抑制	189	22%
現状十分、今後推進	261	30%
わからない	193	22%



※河川利用施設とは、散策路などの水辺整備、河川敷のグラウンド、ゴルフコースなどのスポーツ施設やトイレなどの施設を意味する

年代別の回答比率



	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比										
現状不十分、今後推進	0	0%	4	7%	28	17%	29	11%	29	13%	8	7%	2	6%
現状不十分、今後抑制	0	0%	14	26%	18	11%	38	14%	27	12%	16	15%	5	16%
現状十分、今後抑制	1	50%	7	13%	36	21%	54	20%	52	23%	33	30%	6	19%
現状十分、今後推進	0	0%	13	24%	45	27%	80	30%	77	34%	34	31%	12	39%
わからない	1	50%	16	30%	42	25%	69	26%	41	18%	18	17%	6	19%
合計	2	100%	54	100%	169	100%	270	100%	226	100%	109	100%	31	100%

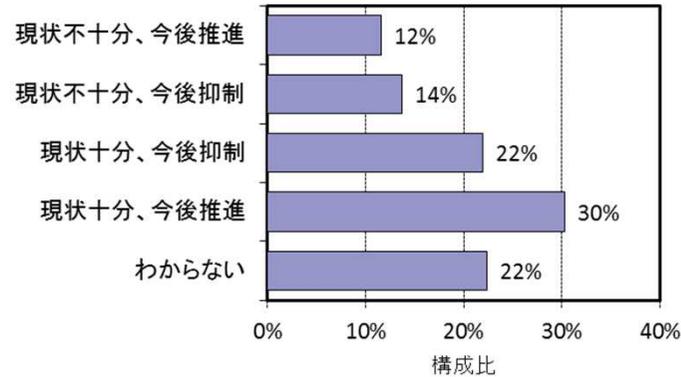
- これまでの河川利用施設の整備は十分推進してきているが、今後も事業を推進してほしいとの回答が最も多く、約3割を占めている。
- 約2割の方がわからないと回答している。
- 年代別に見ると、これまでの河川利用施設の整備は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答の比率は、各年代において最も高くなっている。

10 神通川の河川整備の現状と将来について(利用) - 居住年数別 -

問12 あなたが考える「神通川の河川整備の現状と将来」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

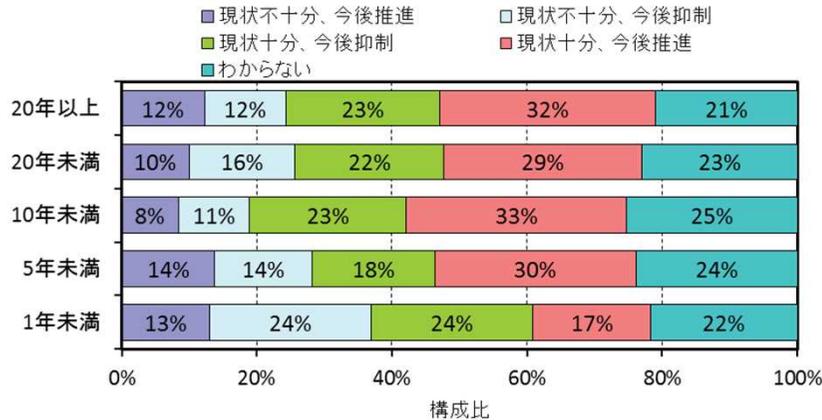
問12-③ 「利用」について：河川利用施設※の整備について、あなたの思いに最も近いものを以下から1つ選択してください。

	合計	
	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	100	12%
現状不十分、今後抑制	118	14%
現状十分、今後抑制	189	22%
現状十分、今後推進	261	30%
わからない	193	22%



※河川利用施設とは、散策路などの水辺整備、河川敷のグラウンド、ゴルフコースなどのスポーツ施設やトイレなどの施設を意味する

居住年数別の回答比率

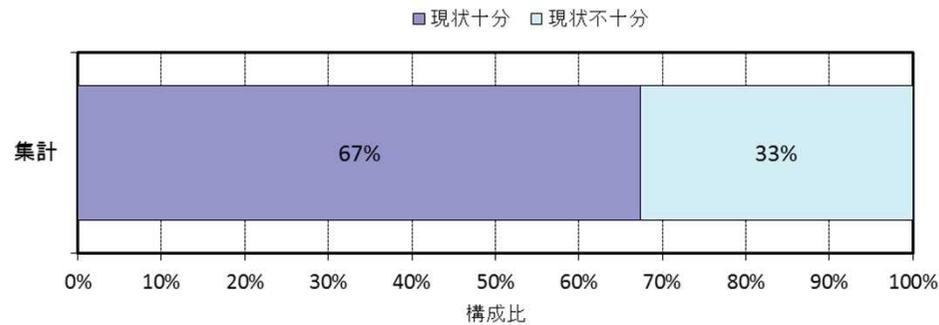


	1年未満		5年未満		10年未満		20年未満		20年以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	6	13%	19	14%	8	8%	19	10%	48	12%
現状不十分、今後抑制	11	24%	20	14%	10	11%	30	16%	47	12%
現状十分、今後抑制	11	24%	25	18%	22	23%	42	22%	89	23%
現状十分、今後推進	8	17%	41	30%	31	33%	56	29%	125	32%
わからない	10	22%	33	24%	24	25%	44	23%	82	21%
合計	46	100%	138	100%	95	100%	191	100%	391	100%

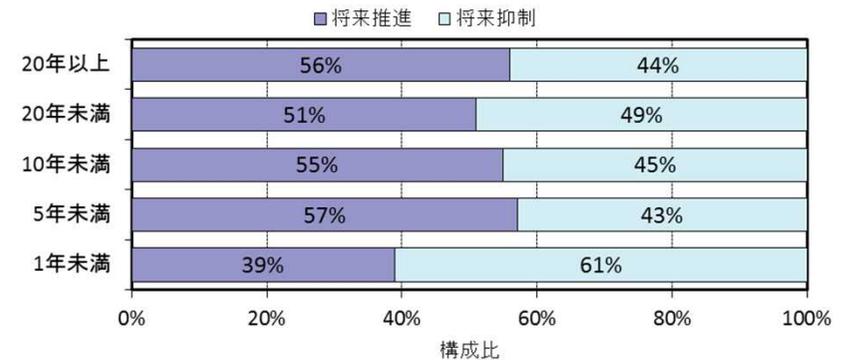
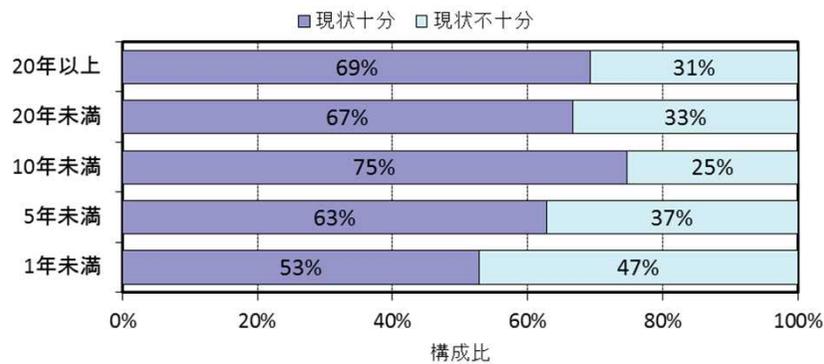
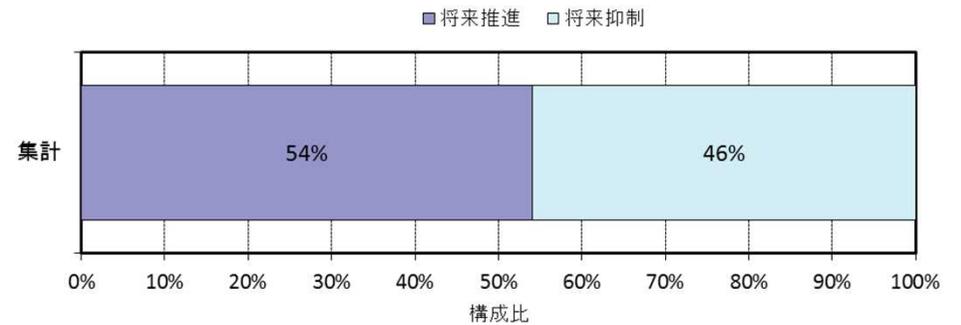
- これまでの河川利用施設の整備は十分推進してきているが、今後も事業を推進してほしいとの回答が最も多く、約3割を占めている。
- 約2割の方がわからないと回答している。
- 居住年数の長さにかかわらず、これまでの河川利用施設の整備は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答が多い。
- 居住期間が1年未満の回答者で、これまでの河川利用施設の整備は不十分だと思うが、今後のも抑制してほしいとの回答が多くなっている。

10 神通川の河川整備の現状と将来について(利用) - 居住年数別 -

現状への思い



将来への思い



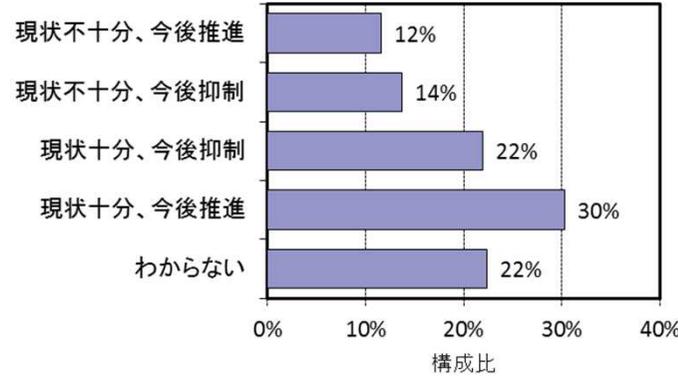
- 居住期間が1年未満の回答者に、これからの河川利用施設の整備事業は抑制してほしいとの回答が多くなっている。

10 神通川の河川整備の現状と将来について(利用) - 徒歩時間別 -

問12 あなたが考える「神通川の河川整備の現状と将来」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

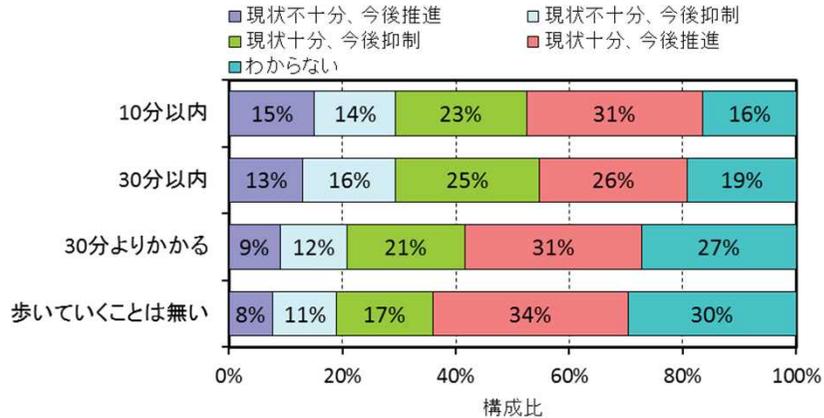
問12-③ 「利用」について：河川利用施設※の整備について、あなたの思いに最も近いものを以下から1つ選択してください。

	合計	
	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	100	12%
現状不十分、今後抑制	118	14%
現状十分、今後抑制	189	22%
現状十分、今後推進	261	30%
わからない	193	22%



※河川利用施設とは、散策路などの水辺整備、河川敷のグラウンド、ゴルフコースなどのスポーツ施設やトイレなどの施設を意味する

徒歩時間別の回答比率



	10分以内		30分以内		30分よりかかる		歩いていくことは無い	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	34	15%	14	9%	36	13%	16	8%
現状不十分、今後抑制	32	14%	18	12%	45	16%	23	11%
現状十分、今後抑制	52	23%	32	21%	70	25%	35	17%
現状十分、今後推進	70	31%	48	31%	72	26%	71	34%
わからない	37	16%	42	27%	53	19%	61	30%
合計	225	100%	154	100%	276	100%	206	100%

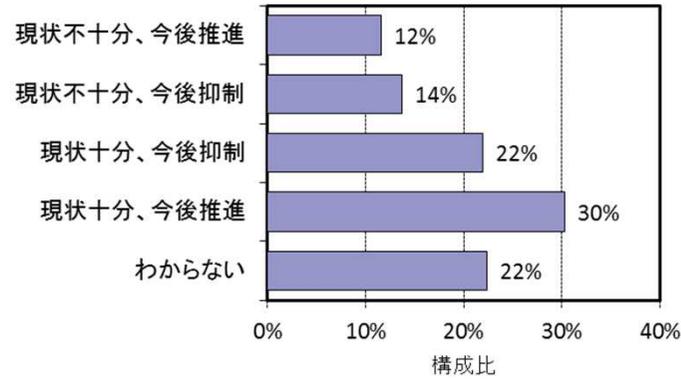
- これまでの河川利用施設の整備は十分推進してきているが、今後も事業を推進してほしいとの回答が最も多く、約3割を占めている。
- 約2割の方がわからないと回答している。
- 徒歩時間の長さにかかわらず、これまでの河川利用施設の整備は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答が多い。
- 近くの河川まで30分以内の方は、徒歩時間が長い方と比べて、これまでの河川利用施設の整備は不十分だと思いと回答する割合が多くなっている。

10 神通川の河川整備の現状と将来について(利用) - 訪問頻度別 -

問12 あなたが考える「神通川の河川整備の現状と将来」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

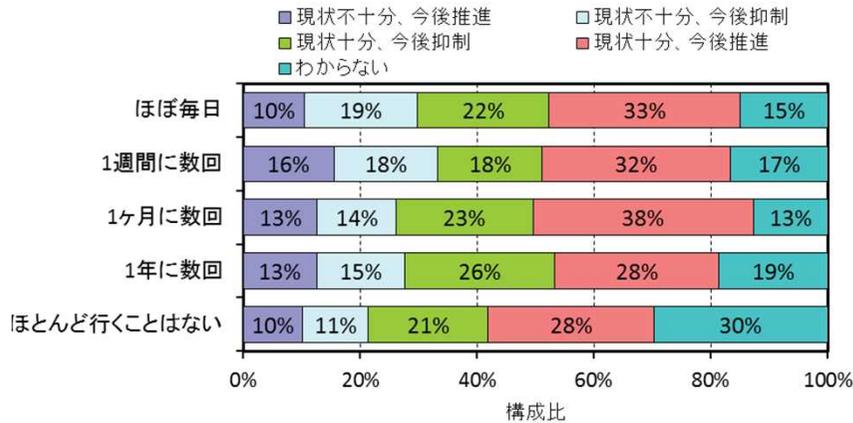
問12-③ 「利用」について：河川利用施設※の整備について、あなたの思いに最も近いものを以下から1つ選択してください。

	合計	
	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	100	12%
現状不十分、今後抑制	118	14%
現状十分、今後抑制	189	22%
現状十分、今後推進	261	30%
わからない	193	22%



※河川利用施設とは、散策路などの水辺整備、河川敷のグラウンド、ゴルフコースなどのスポーツ施設やトイレなどの施設を意味する

訪問頻度別の回答比率



	ほぼ毎日		1週間に数回		1ヶ月に数回		1年に数回		ほとんど行くかない	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	7	10%	14	16%	14	13%	25	13%	40	10%
現状不十分、今後抑制	13	19%	16	18%	15	14%	30	15%	44	11%
現状十分、今後抑制	15	22%	16	18%	26	23%	51	26%	81	21%
現状十分、今後推進	22	33%	29	32%	42	38%	56	28%	112	28%
わからない	10	15%	15	17%	14	13%	37	19%	117	30%
合計	67	100%	90	100%	111	100%	199	100%	394	100%

- これまでの河川利用施設の整備は十分推進してきているが、今後も事業を推進してほしいとの回答が最も多く、約3割を占めている。
- 約2割の方がわからないと回答している。
- 訪問頻度の多少にかかわらず、これまでの川利用施設の整備は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答が多い。

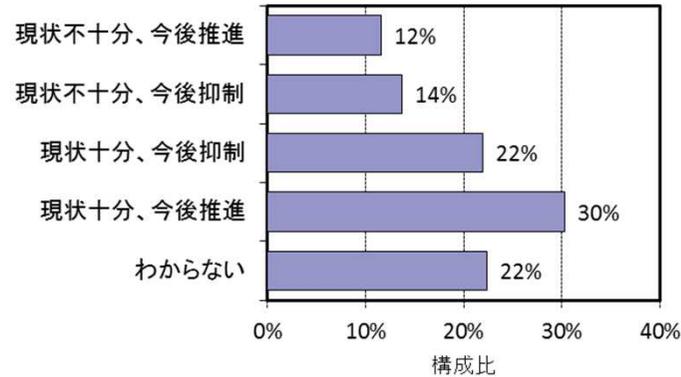
10 神通川の河川整備の現状と将来について(利用) - 知識度別 -

問12 あなたが考える「神通川の河川整備の現状と将来」について、「治水」「環境」「利用」の3つの分野別にお尋ねします。

問12-③ 「利用」について：河川利用施設※の整備について、あなたの思いに最も近いものを以下から1つ選択してください。

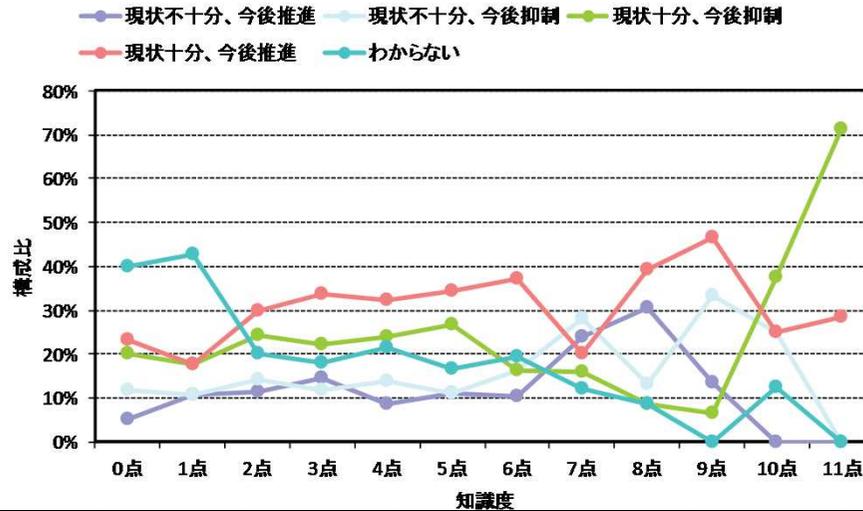
※河川利用施設とは、散策路などの水辺整備、河川敷のグラウンド、ゴルフコースなどのスポーツ施設やトイレなどの施設を意味する

	合計	
	回答数	構成比
現状不十分、今後推進	100	12%
現状不十分、今後抑制	118	14%
現状十分、今後抑制	189	22%
現状十分、今後推進	261	30%
わからない	193	22%



- これまでの河川利用施設の整備は十分推進してきているが、今後も事業を推進してほしいとの回答が最も多く、約3割を占めている。
- 約2割の方がわからないと回答している。
- これまでの河川利用施設の整備は十分推進してきているが、今後も推進してほしいとの回答の比率は、知識度が高いほど高くなっている傾向がある。

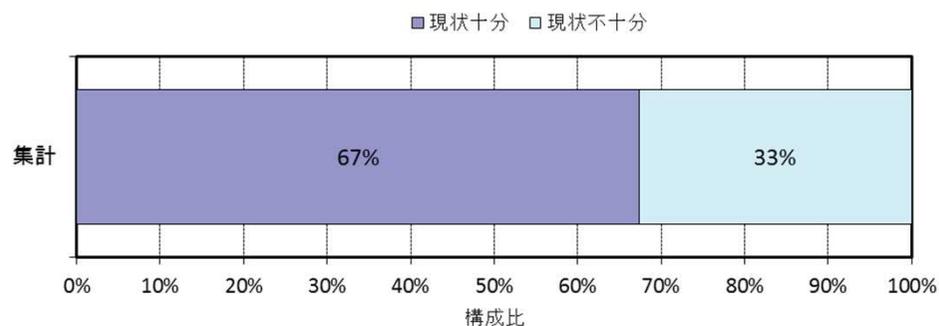
知識度別の回答比率



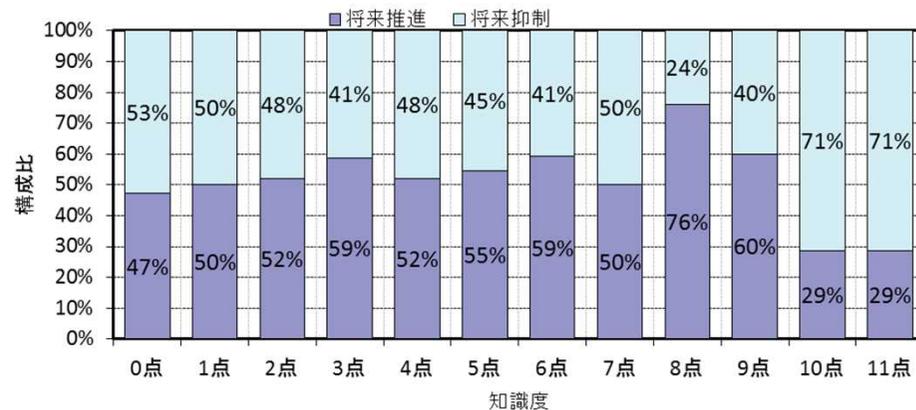
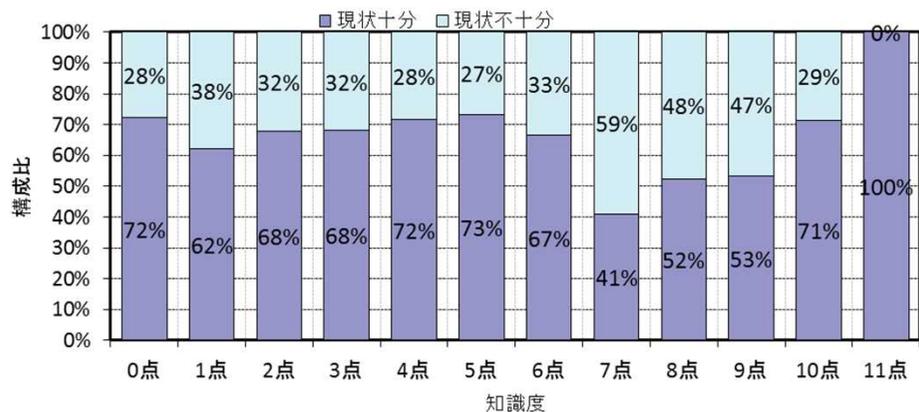
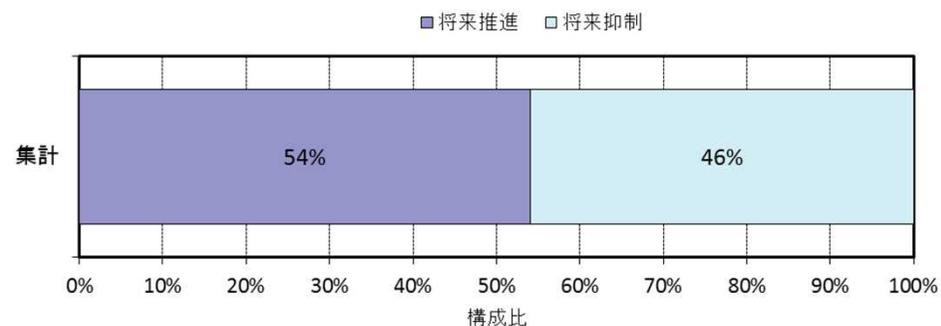
	0点		1点		2点		3点		4点		5点		6点		7点		8点		9点		10点		11点		合計	
	回答数	構成比																								
現状不十分、今後推進	3	5%	11	11%	22	12%	21	14%	11	8%	10	11%	7	10%	6	24%	7	30%	2	13%	0	0%	0	0%	100	12%
現状不十分、今後抑制	7	12%	11	11%	27	14%	17	12%	18	14%	10	11%	11	16%	7	28%	3	13%	5	33%	2	25%	0	0%	118	14%
現状十分、今後抑制	12	20%	18	18%	46	24%	32	22%	31	24%	24	27%	11	16%	4	16%	2	9%	1	7%	3	38%	5	71%	189	22%
現状十分、今後推進	14	23%	18	18%	57	30%	49	34%	42	32%	31	34%	25	37%	5	20%	9	39%	7	47%	2	25%	2	29%	261	30%
わからない	24	40%	43	43%	38	20%	26	18%	28	22%	15	17%	13	19%	3	12%	2	9%	0	0%	1	13%	0	0%	193	22%
総計	60	100%	101	100%	190	100%	145	100%	130	100%	90	100%	67	100%	25	100%	23	100%	15	100%	8	100%	7	100%	861	100%

10 神通川の河川整備の現状と将来について(利用) - 知識度別 -

現状への思い



将来への思い

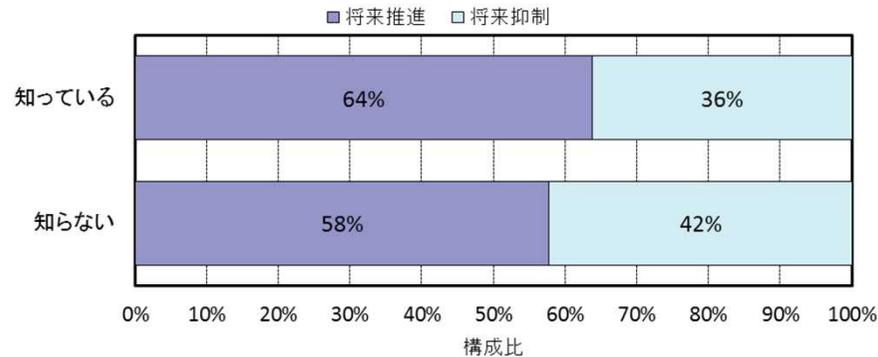
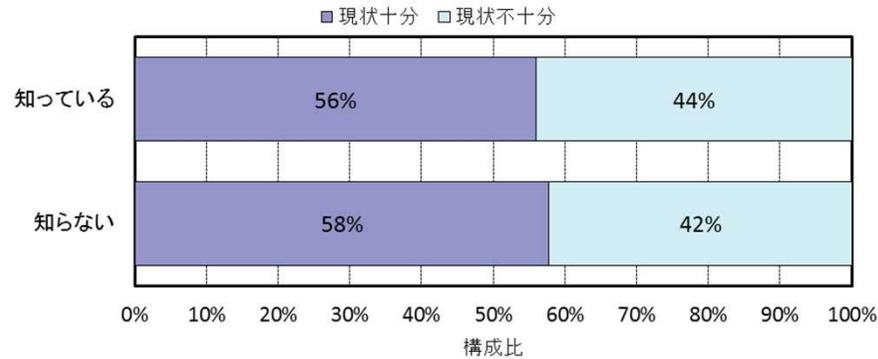
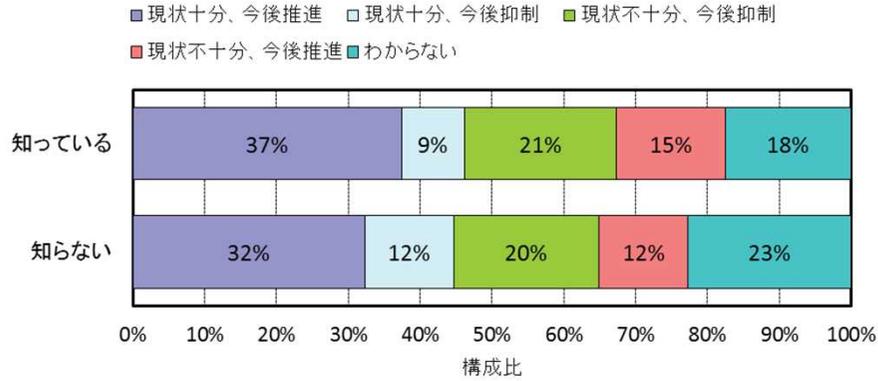


- 全体的には、これまでの河川利用施設の整備は十分推進してきているとの回答が多く、知識度別に明確な傾向は無い。

神通川に関する知識と河川整備の考え方との関係

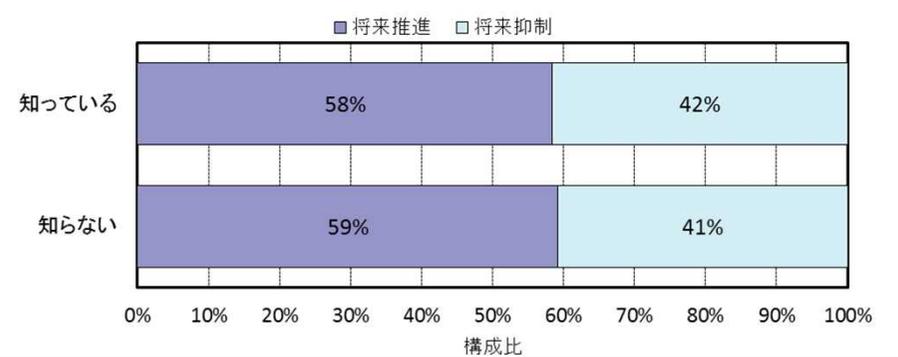
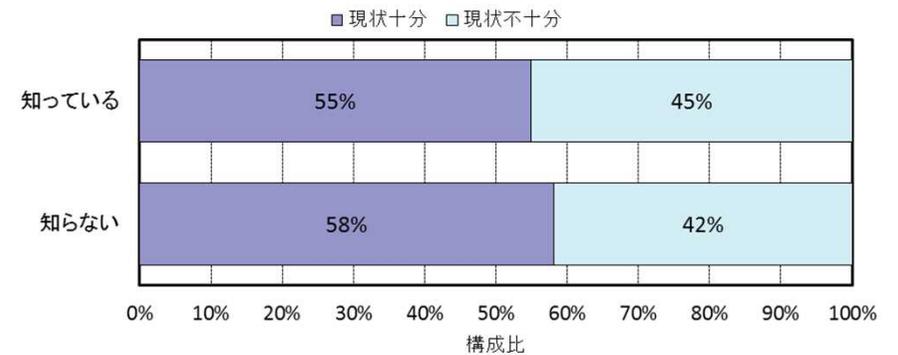
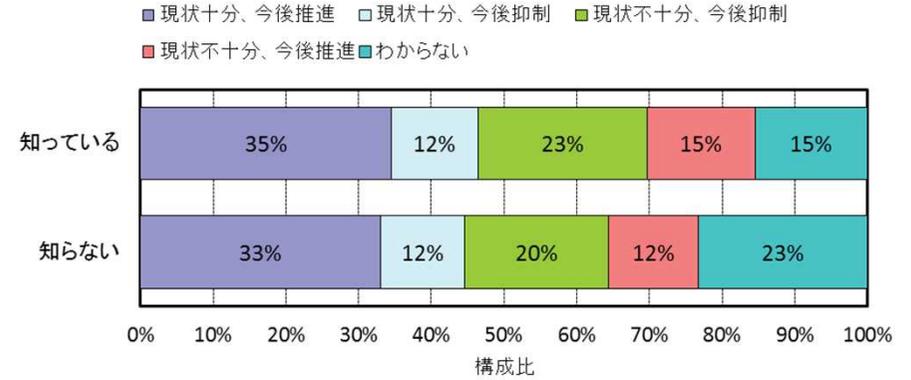
11 神通川に関する知識と河川整備の考え方との関係(治水)

(9) 平成16年10月の台風23号は、神通川における観測史上最大の洪水だった



平成16年の台風23号による洪水を知っている回答者の方が、若干ではあるものの、現状の整備は不十分だと思っており、今後更に推進すべきと答えている割合が高い。

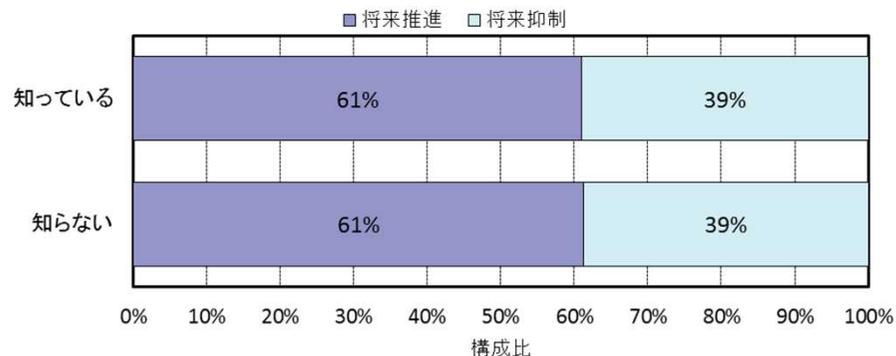
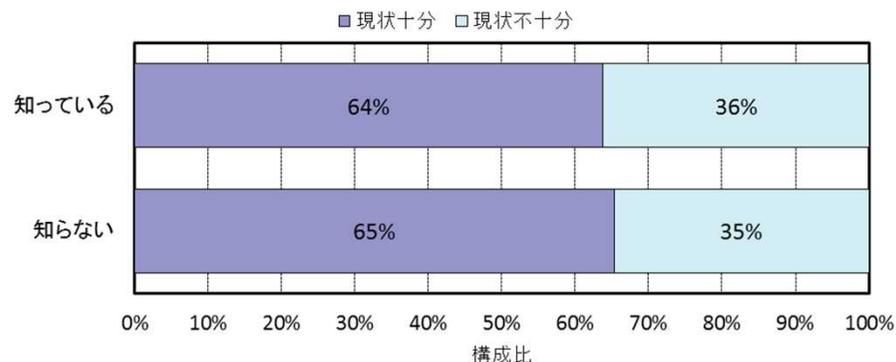
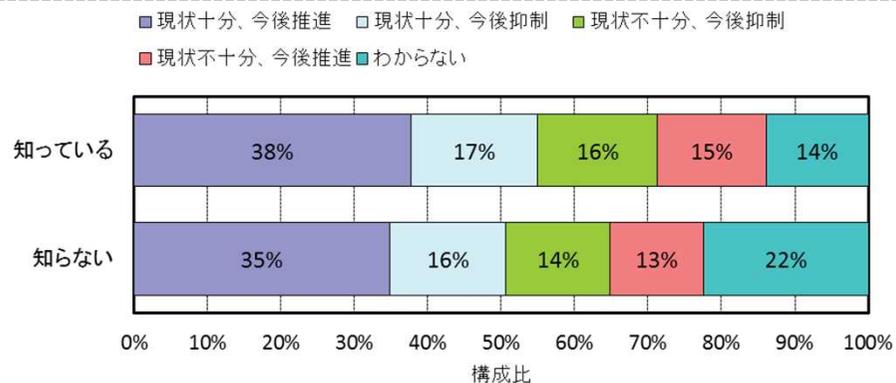
(10) 平成16年10月の台風23号の洪水に伴い、富山市では、10月21日の夜中に1,500世帯以上を対象に避難勧告が発令された



平成16年の台風23号時の避難勧告発令を知っている回答者の方が、若干ではあるものの、現状の整備は不十分だと思っている割合が高い。

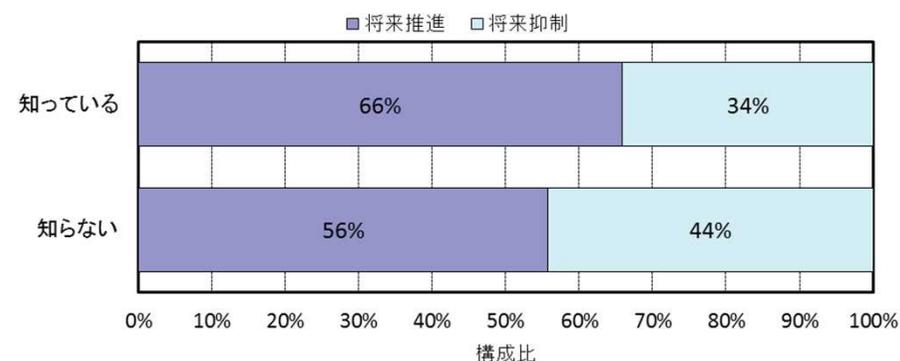
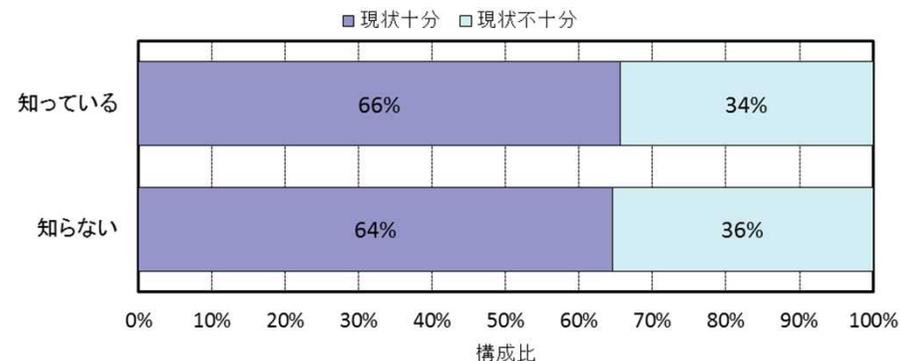
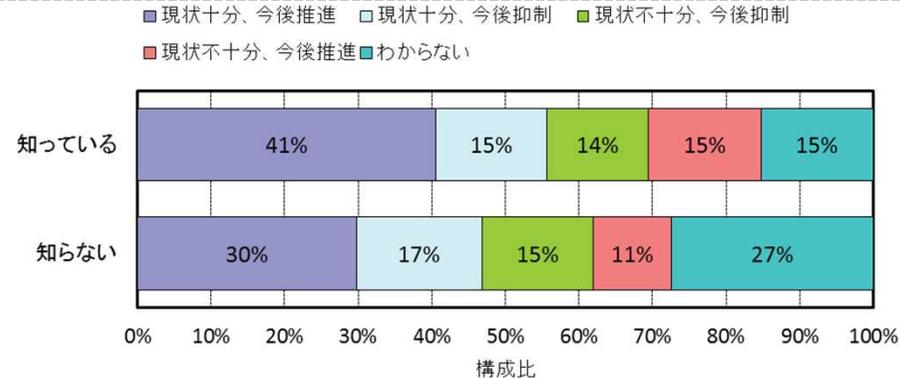
11 神通川に関する知識と河川整備の考え方との関係(環境)

(7) 河口付近が鳥獣保護区に指定されている



鳥獣保護区の指定を知っている回答者の方が、若干ではあるものの、現状の整備を不十分だと思っていると答えている割合が高い。

(8) 神通川にはサクラマスが遡上している



鳥獣保護区の指定を知っている回答者の方が、今後整備を推進すべきと答えている割合が高い。

神通川についての自由意見

12 神通川についての自由意見

本アンケートでは、問11「目指すべき神通川の姿（治水・環境・利用の分野別）」、問12「神通川の河川整備の現状と将来」及び問13「アンケート全体を通したご意見やご感想」において、自由記入による意見をいただいている。

自由記入による意見聴取の目的は、今後の神通川に対する幅広いご意見をいただくこと、河川整備計画（原案）作成時の参考とするためのものである。

自由意見からのキーワードの抽出・集計ならびに意見の集約と検討の方向性の整理は別途実施しているが、以下では選択肢毎の意見の例をまとめる。

自由意見の例

問11-①【治水】	自由意見
治水事業を早期に完了させるべき	<ul style="list-style-type: none"> ●情報を収集・周知していても、いざ堤防が決壊した場合は治水事業以上にお金や時間がかかってくると思われる。治水事業を完了させ、堤防を決壊させない、水をあふれさせないことが最優先。 ●平成16年の洪水があったことを知らなかったが、恐ろしいところまで増水していたことに驚いた。 ●神通川は富山の中心部を流れる川のため、鬼怒川のような災害が起こった場合の被害は甚大であることが、容易に予想できるため、早急な治水が必要だと思った。 ●神通川の第三ダムより下流域での土砂の堆積が多く、豪雨が発生すると一気に増水している状況が見受けられる。堤防等の護岸整備も大切だが堆積している土砂の撤去にも力を入れるべき
治水事業には多くの時間と労力がかかるので、情報の収集・周知・防災訓練等のソフト対策を中心にするべき	<ul style="list-style-type: none"> ●大雨の時に実際の水位を見に行く訳にもいかないため、現在の水位が簡単にわかる方法をもっと広く発信してほしい。 ●最近台風で決壊している川が多いが、安心して住めるまちになるよう、情報、防災訓練など住民も一緒になって考えるような対策をすすめてほしい。 ●数十年、数百年に一度の災害に備え、ハード整備を行うことは、金と時間を要し効率的ではない。ソフト対策で対応する方が有効。ハード整備は、逃げるための時間稼ぎという観点から整備し、災害時には、まず人命を優先し、逃げることを優先すべき。
治水事業と情報の収集・周知・防災訓練等のソフト対策の両者がバランスのとれた対策を行うべき	<ul style="list-style-type: none"> ●治水事業を進めてほしいが、それに頼りすぎると防災感覚に疎くなるため両方を並行して進める方が望ましい。 ●昨今の異常気象等の発生状況から考えてハード的整備だけでは賄えない部分が多く見受けられるように感じる。ハード面の整備をすすめると同時にソフト面での住民の自主的な防災に頼らないとどうしようもない。 ●過去の被害状況を再確認し、その周辺の整備及び防災対策の策定を進め、防災訓練の徹底に務める。
その他（具体案など）	<ul style="list-style-type: none"> ●外水対策の河道拡幅等護岸整備のみならず、河川水位の内水への影響を排除するため、ゲートポンプの設置を急ぐべき。 ●特に、神通大橋から下流西側の堤防を整備して欲しい。 ●水の流れが毎日変化しているので点検して整備することが大切です。しかし川底が高くなっているところが掘削されず又、反対に川底がえぐられて堤防が崩れているところなど早急に対応してほしい。 ●都市部への浸水被害対策を早急に行う。 ●堤防を楽しい散歩道としてもっと整備すべきである。散歩を通じて防災のソフト面を学習すべきではないでしょうか。

12 神通川についての自由意見

自由意見の例

問11-②【環境】	自由意見
水量の豊富な河川	<ul style="list-style-type: none"> ●雪解けの時期に水量が多い。 ●富山といえば綺麗な山と豊富な水というイメージから水質にもこだわりたい。 ●水量豊富で電力に生かすべき河川である、河川よりは滝に近い川である。
水質がきれいな河川	<ul style="list-style-type: none"> ●子供が遊んでも問題ない程度の水質が望ましいと思われる。そのような水質であれば、多様な動植物も自然に育まれるのではないだろうか。 ●神通川は、カドミウム汚染された川というイメージがある。これを払拭させる広報が必要。 ●綺麗な水 アユがウマイ ●神通川＝イタイタイ病のイメージは必ずついてしまうので、水質の改善を図る。魚、特にサクラマスを増やして鱒の寿司を県内産でまかなうようになれば、イメージの改善になる。 ●水の王国、清流、サクラマス ●美しい河川の県をアピール。立山の自然から流れる川、そして海へ美しい自然をはぐくみ、おいしい食の県、住みよい町。
礫河原が多い河川	—
多様な動植物を育む河川	<ul style="list-style-type: none"> ●鮎の生息に寄与、動植物の生育 ●外来種の根絶 ●自然再生と外来植物の除去 ●多様な魚が遡上する河川

問11-③【利用】	自由意見
河川敷はグラウンドや公園などを作り、スポーツや憩いの場として利用すべき	<ul style="list-style-type: none"> ●グラウンドは、パークゴルフ専用と化していて、みんなが憩う場所となっていない。不特定多数の市民が集うことのできる空間があるといい。 ●カヌーやボートなどが楽しめる区間があればよい。 ●県民が親しむ憩いの場の設置整備。 ●うまく地形を生かして、にぎわいをつくるイメージ
河川敷は自然環境を増やし、自然に親しむ場として利用すべき	<ul style="list-style-type: none"> ●自然と触れ合える散歩道 ●自然を活かしたレクリエーションの場
河川敷は場所毎に需要や現地状況を踏まえて利用方法を設定すべき	<ul style="list-style-type: none"> ●周囲の住民の年齢層に合わせて考えるべき。子どもが多いのなら公園、若者が多いならスポーツ、サッカーや野球、テニスなどができる場所、高齢者が被いならウォーキングができるように整備したり、ゲートボールやパークゴルフなどができる場所。 ●環境と利用は相反するもの。利用する場所、環境を保全する場所を明確に区分し守っていくことが必要。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●官民が一体となって各地域で意見交換会を行い方向性を決めるべき

12 神通川についての自由意見

自由意見の例

問12-①【治水】	自由意見
これまでの治水事業では不十分だと思うので、もっと事業を進めてほしい	<ul style="list-style-type: none"> ●市民が安心して暮らせるようにするためには、堤防が決壊するかもしれない箇所がある場合は、まずそこを完成させるべき。人命が一番。長期的には、それを終わらせたうえで、沿岸の整備をして、憩いの場所や動植物対策をするべき。 ●対策をしても、想定外のことが起こることもある。避難場所の周知などの啓発や、自治体が主になって行う訓練などを充実させてほしい。 ●最近の災害のニュースでも、今までこんな事は無かったと地元の人が言っていたりするので十分なんてわからない。 ●人間中心だけではなく、環境に配慮していくべき。コンクリートは寿命があるため、自然素材をもって保全等に充てるべき。 ●十分かどうかは判断に迷う。しかし、治水と並行して河川環境の整備も行っていったほうが、地域住民の関心呼びやすいし安全意識も高まるのではと思う。
これまでの治水事業では不十分だとは思わないが、治水事業はこの程度にして他の事業を進めてほしい	
これまでに十分整備してきているので、治水事業はこの程度にして他の事業を進めてほしい	
これまでに十分整備してきているが、より水害に強い川になるよう治水事業をもっと進めてほしい	

問12-②【環境】	自由意見
これまでの河川環境の保全・再生ではまだ不十分だと思うので、もっと事業を進めてほしい	<ul style="list-style-type: none"> ●都市部の河川に比すれば、十分に自然に触れることができると思うが、これまでの生態系を残しながら河川利用を推進してほしい。 ●河川環境が良いことは河川のブランド化に繋がる。ハード対策は河川環境の整備と対立するものではないと思う。 ●富山県産のマスで鱒寿司を作れるくらいに綺麗な川にしてサクラマスと呼び戻そう。 ●コンクリートで固めるだけでなく、自然に近い形になればいい。 ●水は富山県のイメージにとって大事なものだから河川環境はより良いものにしてほしい。 ●治水と環境保全は両立しないが、生態系の研究などを進め、少しでも整備に反映させていくことが必要。 ●河川環境は十分な整備がなされていると思うが、時代の変化にあわせて、より良い環境となるように努力してほしい。
これまでの河川環境の保全・再生ではまだ不十分だと思うが、河川環境の保全・再生はこの程度にして他の事業を進めてほしい	
これまでに十分整備してきているので、河川環境の保全・再生はこの程度にして他の事業を進めてほしい	
これまでに十分整備してきているが、より良い河川環境となるよう河川環境の保全・再生をもっと進めてほしい	

12 神通川についての自由意見

自由意見の例

問12-③【利用】	自由意見
<p>これまでの河川利用施設の整備では不十分だと思うので、もっと事業を進めてほしい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●有沢橋より上流側ではまだまだ有効に利用されているとは思えない。ジョギングやサイクリングコース等、回遊性を持たせて整備してもらいたい。 ●ある程度整備されていると思う。近年災害が多いので、そちらの対策に力を入れてほしい。 ●環水公園は、県外の知人が来た時は必ず案内している。派手なテーマパークでは無いが、環境が良いと必ず喜んで貰える。富山の河川の素晴らしさを知って貰える様な整備を期待する。 ●あまり利用しないが、施設等は充分あると感じているので水害や自然破壊等への対策がもっと必要。 ●どんな利用がいいのかよく分からないが、いずれにしても、テンポラリーな施設でいいのでは。 ●河川の高水敷は、緑地など、人々に潤いと活力を与えてくれる貴重な公共空間である。洪水に影響のない範囲で、有効利用できるようにすべき。
<p>これまでの河川利用施設の整備では不十分だと思うが、河川利用施設はこの程度にして他の事業を進めてほしい</p>	
<p>これまでに十分整備してきているので、河川利用施設の整備はこの程度にして他の事業を進めてほしい</p>	
<p>これまでに十分整備してきているが、より平常時の河川利用が便利な川になるよう河川利用施設の整備を進めてほしい</p>	